

愛媛大学 防災情報研究センター報 第14号・2019年度





台風19号·茨城県久慈川調査(今和元年10月





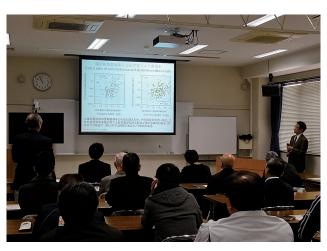
平成30年度活動報告会 (令和元年5月31日)



松山市防災教育推進協議会設立共同発表 (令和元年5月31日)



令和元年台風19号にかかる災害調査報告会 (令和元年10月30日)



令和元年台風19号にかかる災害調査報告会 (令和元年12月3日)





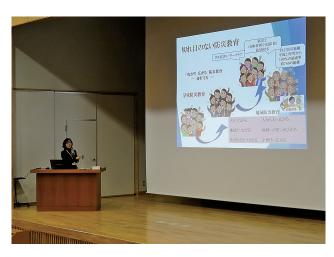
社会基盤メンテナンスエキスパート (ME) 養成講座 (令和元年8月29日~10月11日 12日間)



防災士養成講座(西条)令和元年8月3日~4日



防災士養成講座(松山) 令和元年8月22日~23日,24日~25日 令和元年10月17日~18日,19日~20日



松山防災リーダー育成センター報告会 (令和2年2月20日)



防災シンポジウム (令和2年2月21日)



ストリートイベント「道で音楽を楽しもう」 (令和元年10月26日)



アーバンデザインスクール (令和元年5月~12月)

大きな自然災害が多発した「平成」の時代が終わり、新たな「令和」の時代には誰もが 災厄の少ない平穏な時代を迎えられることを期待していました。しかし、令和元年も気候 変動による極端な自然現象は牙を剥き、我が国に大きな被害を与えました。

令和元年に日本に上陸した台風 19号 (東日本台風) では阿武隈川,千曲川,久慈川の堤防が決壊するなど,河川の氾濫,決壊が相次ぎ,堤防の決壊数は 140 箇所にのぼりました。この豪雨災害をきっかけにして,政府は既存ダムの洪水調節機能の強化に向けた基本方針を決定し,利水ダムを含めた既存ダムの事前放流の取組が進められることになりました。また近年の豪雨災害の頻発化をうけ,国土交通省は治水計画を「気候変動による降雨量の増加などを考慮したもの」に見直すとともに,河川の流域のあらゆる関係者が協働して流域全体で行う治水対策「流域治水」へ転換も打ち出されています。

また令和元年度第4四半期には新型コロナウイルス感染症が拡大し、3月には世界保健機構によってパンデミックが宣言されました。全世界的に人の移動が制限され、また国内においても緊急事態宣言が出され、観光、運輸、飲食業、医療を中心に大きな影響が出ています。100年前のスペイン風邪以来のパンデミックですが、「忘れた頃にやってくる」点では自然災害と大きく共通しています。自然災害と異なるのは事態の進展のスピードが遅いため、人や社会がなんとか対応しながら事業継続していけることでしょうか。我々はこの事象への対応をよく観察して、天災に対する危機管理の本質を学ぶ必要があると思います。

今後30年以内に70~80%の確率で発生が予測されている南海トラフ地震は、四国に強い地震動と巨大津波を各地にもたらすことが予想されています。防災・減災の対策を推進することは当然のことながら、東日本大震災クラスの津波が押し寄せることを考えると沿岸地域は大きなダメージを受けることが想定されます。被災は完全には避けられないかもしれませんが、その後の速やかな復興を目指すための取組は事前に準備できるものと思います。当センターでは、東京大学復興デザイン研究体、愛媛県、宇和海沿岸3市2町と"事前復興"共同研究を平成30年度より開始しており、被災後の生活再建や市街地復興等について研究を行っています。この研究の成果が実践され、来る南海トラフ地震への事前復興に確実に活かされるようにする必要があります。

防災情報研究センターでは、インフラ再生を担う人材を育成するための「社会基盤メンテンスエキスパート養成講座」、松山市都市再生協議会と連携した「アーバンデザイン研究部門」、防災に関わる人材育成への取り組みである「防災士養成講座」、切れ目のない全世代型防災教育を実現する「松山防災リーダー育成センター」等の事業を継続して実施しており、地域防災力の向上に力を入れています。さらに、アジア圏の災害調査や防災研究連携にも力を入れてきました。2015年に発生したネパール・ゴルカ地震の被害調査を精力的に進め、この調査研究推進のために、関係機関・諸氏から多くの賛助寄付金を頂いています。その寄付金によりカトマンズ市に地震復興に向けた学術拠点である「愛媛大学ネパール地震復興デザインセンター」を開設しています。またネパールの防災教育の充実化に向けて継続的に活動を続けています。

愛媛大学防災情報研究センターでは地域防災力向上のために更なる活動を展開していきます。本報告書に昨年 1 年間の活動成果をまとめておりますので,本センターの活動の理解を深める一助となれば幸いです。災害に立ち向かうためには,多くの機関や個人の力の結集が必要です。皆様の温かいご支援とご協力をお願いします。

愛媛大学防災情報研究センター長 森脇 亮

愛媛大学防災情報研究センター年報 目次

序文

目次

1.	研究	組織及び研究スタッフ	1					
2.	活動	状況						
	2. 1	活動報告	13					
	2. 2	社会基盤メンテナンスエキスパート(ME)養成講座	16					
	2. 3	南海トラフ地震事前復興共同研究	26					
	2. 4	松山市との連携	28					
	2. 5	アーバンデザイン研究部門	30					
	2. 6	四国防災八十八話研究会	36					
	2. 7	防災情報研究センターニュース(メールマガジン)	37					
3.	センターが受け入れた研究活動							
	3. 1	受託研究	38					
	3. 2	受託事業	38					
	3. 3	共同研究	38					
	3. 4	寄附金	39					
4.	セン	ター教員による研究・地域貢献活動	41					
2 2 2 2 2 2 2 2 3. t 3 3 3 3 4. t 5. 5 5	規程	等 ————————————————————————————————————						
	5. 1	愛媛大学防災情報研究センター規則	66					
	5. 2	愛媛大学防災情報研究センター運営委員会規程	69					
	5. 3	愛媛大学防災情報研究センター外部評価実施規程	71					
	5. 4	愛媛大学防災情報研究センター外部評価委員会要項	72					

1 研究組織及び研究スタッフ

センター長、副センター長のもとに、8 つの研究部門(災害救急医療・ケア研究部門、地域防災システム研究部門、アジア・地域防災情報ネットワーク部門、アーバンデザイン研究部門、防災・橋梁メンテナンス技術研究部門、インフラ空間情報基盤研究部門、松山全世代型防災教育推進講座、海洋レーダ情報高度化研究部門)を置く。下記に、2019 年度の研究スタッフを示す。センター長、副センター長の他、センター所属の教職員が35名、客員教授・准教授が17名、客員研究員が3名、及びセンター活動を支援していただく協力教員4名で構成されている。

センター長

氏 名 森脇 亮 [MORIWAKI Ryo]

所 属 理工学研究科生產環境工学専攻

役 職 教授

専 門 気象学・水文学

最終学歷 1996.3 東京工業大学工学部土木工学科 卒業

副センター長

氏 名 吉井 稔雄 [YOSHII Toshio]

所 属 理工学研究科生産環境工学専攻

役 職 教授

専 門 交通工学

最終学歷 1994.3 東京大学大学院工学系研究科修士課程土木工学専攻修了

氏 名 松村 暢彦 [MATSUMURA Nobuhiko]

所 属 社会共創学部

役 職 教授

専 門 地域デザイン

最終学歷 1995.3 大阪大学大学院工学研究科土木工学専攻博士後期課程 中退

氏 名 二神 透 [FUTAGAMI Tohru]

所 属 防災情報研究センター

役 職 准教授

専門 都市防災計画, 地震火災シミュレータ, 避難シミュレータ, 救急情報工学, 土木計画学, 中山間地防災計画, 住民参加, 合意形成

最終学歴 1990.3 金沢大学大学院自然科学研究科システム科学博士課程 修了

<u>氏 名 バンダリ ネトラ プラカシュ [BHANDARY Netra Prakash]</u>

所 属 社会共創学部

役 職 特任教授

専 門 地盤防災

最終学歷 2003.3 愛媛大学大学院理工学研究科生産工学博士後期課程 修了

<災害救急医療・ケア研究部門>

地域の関係機関との連携を考慮した災害発生時の救急医療・ヘルスケア体制及び搬送支援体制の構築・情報共有に関する調査・研究を行い、心的ケアを含む実践的な災害医療の教材を開発する。

部門長

氏 名 佐藤 格夫 [SATO Norio]

所 属 医学系研究科医学専攻

役 職 教授

専 門 救急医学,集中治療医学,急性期代謝栄養学,重症外傷診療

最終学歷 1995.3 愛媛大学医学部 卒業

氏 名 加藤 匡宏 [KATO Tadahiro]

所 属 教育学研究科学校臨床心理専攻

役 職 准教授

専 門 産業保健領域における人間工学の視点からみた労働安全器具の開発および安全,安心町 づくり

最終学歷 1990.3 広島大学大学院医学系研究科社会医学系博士課程 修了

<地域防災システム研究部門>

自然災害発生のメカニズムや対策技術を研究し、発生した災害実態や気象・地質・構築物などの地域 特性を調査する。それらの調査・研究を通して得られた知見・知識を蓄積する。

部門長

氏 名 二神 透 [FUTAGAMI Tohru]

所 属 防災情報研究センター

役 職 准教授

専 門 都市防災計画, 地震火災シミュレータ, 避難シミュレータ, 救急情報工学, 土木計画学, 中山間地防災計画, 住民参加, 合意形成

最終学歴 1990.3 金沢大学大学院自然科学研究科システム科学博士課程 修了

氏 名 吉井 稔雄 [YOSHII Toshio]

所 属 理工学研究科生産環境工学専攻

役 職 教授

専 門 交通工学

最終学歷 1994.3 東京大学大学院工学系研究科修士課程土木工学専攻修了

氏 名 氏家 勲 [UJIKE Isao]

所 属 理工学研究科生産環境工学専攻

役 職 教授

専 門 コンクリート工学

最終学歷 1981.3 広島大学工学部土木工学課程 修了

氏 名 日向 博文 [HINATA Hirofumi]

所 属 理工学研究科生産環境工学専攻

役 職 教授

専 門 沿岸海洋物理学,海岸工学

最終学歷 1991.3 東京工業大学理工学研究科土木工学専攻 修了

氏 名 小林 範之 [KOBAYASHI Noriyuki]

所 属 農学研究科生物環境学専攻

役 職 教授

専 門 地盤工学

最終学歷 1991.3 京都大学大学院農学研究科農業工学修士課程 修了

氏 名 森 伸一郎 [MORI Shinichiro]

所 属 理工学研究科生産環境工学専攻

役 職 准教授

専 門 地震工学, 地震地盤工学, 防災工学

最終学歷 1980.3 京都大学工学部土木工学科 卒業

氏 名 都築 伸二 [TSUZUKI Shinji]

所 属 理工学研究科電子情報工学専攻

役 職 教授

専 門 通信工学

最終学歷 1985.3 愛媛大学大学院工学研究科修士課程 修了

氏 名 門田 章宏 [KADOTA] Akihiro]

所 属 理工学研究科生產環境工学専攻

役 職 准教授

専 門 河川工学

最終学歷 1997.3 京都大学大学院工学研究科博士課程環境地球工学専攻 単位取得認定退学

氏 名 川瀬 久美子 [KAWASE Kumiko]

所 属 教育学部

役 職 准教授

専 門 自然地理学, 地形学

最終学歷 2000.3 名古屋大学大学院文学研究科博士課程満期退学

氏 名 大橋 淳史 [OHASHI Atsushi]

所 属 教育学部

役 職 准教授

専 門 科学教育

最終学歷 2001.3 千葉大学大学院博士後期課程 修了

氏 名 石黒 聡士 [ISHIGURO Satoshi]

所 属 法文学部

役 職 講師

専 門 自然地理学

最終学歷 2009.3 名古屋大学大学院環境学研究科博士後期課程 修了

氏 名 藤森 祥文 [FUJIMORI Yoshihumi]

所 属 理工学研究科生産環境工学専攻

役 職 助教

専 門 水文学

最終学歷 2002.3 愛媛大学大学院理工学研究科博士前期課程環境建設工学専攻 修了

<アジア・地域防災情報ネットワーク部門>

地域の視点からの防災・災害対応に関する自然科学・人文社会面の教材の開発,災害時のライフラインや医療に関する基盤情報ネットワーク構築に関する調査・研究を行う。その成果を用いて地域の教育・啓蒙を行い,さらにアジア各地域に重点的に展開する。

部門長

氏 名 榊原 正幸 [SAKAKIBARA Masayuki]

所 属 社会共創学部

役 職 教授

専 門 地球環境学, 地質学, 岩石学, 応用地球科学

最終学歷 1987.9 北海道大学大学院理学研究科地質学鉱物学博士後期課程修了

氏 名 岡村 未対 [OKAMURA Mitsu]

所 属 理工学研究科生産環境工学専攻

役 職 教授

専 門 地盤工学

最終学歷 1993.3 東京工業大学大学院理工学研究科土木工学博士課程 修了

氏 名 バンダリ ネトラ プラカシュ [BHANDARY Netra Prakash]

所 属 社会共創学部

役 職 特任教授

専 門 地盤防災

最終学歷 2003.3 愛媛大学大学院理工学研究科生産工学博士後期課程 修了

<アーバンデザイン研究部門>

公・民・学が連携して、都市デザインとまちづくりに関する調査研究から実践、さらには学習・教育を行い、まちづくりの担い手を育成する。

部門長

氏 名 松村 暢彦 [MATSUMURA Nobuhiko]

所 属 社会共創学部

役 職 教授

専 門 地域デザイン

最終学歷 1995.3 大阪大学大学院工学研究科土木工学専攻博士後期課程 中退

氏 名 千代田 憲子 [CHIYODA Noriko]

所 属 教育学部

役 職 教授

専門デザイン、パブリックデザイン(街路景観)、テキスタイル造形

最終学歷 2003.3 九州芸術工科大学大学院芸術工学研究科生活環境専攻博士後期課程修了

氏 名 柳原 卓 [YANAGIHARA Takashi]

所 属 防災情報研究センター

役 職 特定教授

専 門 まちづくり

最終学歷 1979.3 山梨大学工学部環境整備工学科 卒業

氏 名 羽鳥 剛史 [HATORI Tsuyoshi]

所 属 社会共創学部

役 職 准教授

専 門 社会マネジメント

最終学歷 2006.3 京都大学大学院工学研究科都市社会工学専攻博士課程 修了

氏 名 尾﨑 信 [OSAKI Shin]

所 属 防災情報研究センター

役 職 特定講師

専 門 都市・地域計画、景観学、まちづくり

最終学歷 2005.3 東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻修士課程 修了

氏 名 片岡 由香 [KATAOKA Yuka]

所 属 社会共創学部

役 職 特任講師

専 門 景観デザイン

最終学歷 2013.3 京都大学大学院工学研究科都市環境工学専攻博士後期課程 修了

氏 名 四戸 秀和 [SHINOHE Hidekazu]

所 属 防災情報研究センター

役 職 特定助教

専 門 景観デザイン

最終学歷 2014.3 東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻修士課程 修了

氏 名 板東 ゆかり [BANDO Yukari]

所 属 防災情報研究センター

役 職 特定研究員

<防災・橋梁メンテナンス技術研究部門>

橋梁の健全度調査法の開発や橋梁架設などの防災対策技術の開発に取り組み、それらの技術を日本や アジアに広く展開する。

部門長

氏 名 矢田部 龍一 [YATABE Ryuichi]

所 属 防災情報研究センター

役 職 特命教授

専 門 地盤工学

最終学歷 1979.3 京都大学大学院工学研究科修士課程土木工学専攻修了

氏 名 バンダリ ネトラ プラカシュ [BHANDARY Netra Prakash]

所 属 社会共創学部

役 職 特任教授

専 門 地盤防災

最終学歷 2003.3 愛媛大学大学院理工学研究科生産工学博士後期課程 修了

氏 名 安原 英明 [YASUHARA Hideaki]

所 属 理工学研究科生産環境工学専攻

役 職 教授

専 門 岩盤工学, 地盤工学

最終学歴 2005.10 ペンシルバニア州立大学 Dpt. Energy and Geo-Environmental Engineering

氏 名 木下 尚樹 [KINOSHITA Naoki]

所 属 理工学研究科生產環境工学専攻

役 職 准教授

専 門 岩盤工学

最終学歷 1990.3 愛媛大学大学院工学研究科修士課程土木工学専攻 修了

氏 名 右城 猛 [USHIRO Takeshi]

所 属 防災情報研究センター

役 職 特定教授

専 門 橋梁・構造物の動的解析,落石対策

最終学歷 1977.3 徳島大学工業短期大学部土木工学科 卒業

氏 名 楠本 雅博 [KUSUMOTO Masahiro]

所 属 防災情報研究センター

役 職 特定教授

専 門 橋梁工学・メンテナンス工学

最終学歷 1987.3 徳島大学大学院電子工学専攻課程 修了

<インフラ空間情報基盤研究部門>

インフラ管理の高度化や予防保全を進めるために、インフラ空間情報の取得・整理・活用をより効率的・効果的に行うとともに、老朽化や損傷の兆候を把握する新たな手法の開発を目的として研究に取り組む。

部門長

氏 名 木下 尚樹 [KINOSHITA Naoki]

所 属 理工学研究科生產環境工学専攻

役 職 准教授

専 門 岩盤工学

最終学歷 1990.3 愛媛大学大学院工学研究科修士課程土木工学専攻修了

<u>氏 名 バンダリ ネトラ プラカシュ [BHANDARY Netra Prakash]</u>

所 属 社会共創学部

役 職 特任教授

専 門 地盤防災

最終学歷 2003.3 愛媛大学大学院理工学研究科生産工学博士後期課程 修了

氏 名 安原 英明 [YASUHARA Hideaki]

所 属 理工学研究科生產環境工学専攻

役 職 教授

専 門 岩盤工学, 地盤工学

最終学歴 2005.10 ペンシルバニア州立大学 Dpt. Energy and Geo-Environmental Engineering

氏 名 馬場 務 [BABA Tsutomu]

所 属 防災情報研究センター

役 職 特定教授

専 門 応用化学

最終学歷 1983.3 北海道大学大学院工学研究科後期博士課程専攻 修了

氏 名 <u>中前 茂之[NAKAMAE Shigeyuki]</u>

所 属 防災情報研究センター

役 職 特定教授

専 門 交通計画学・土木政策学・建設マネジメント・防災情報学・北方圏環境政策工学

最終学歷 2015.3 北海道大学大学院北方圈環境政策工学専攻博士後期課程 修了

氏 名 シュクラ エルヴィス アヌープ [SHUKLA Elvis Anup]

所 属 防災情報研究センター

役 職 特定准教授

専 門 生物環境保全学

最終学歷 2013.3 愛媛大学大学院連合農学研究科生物環境保全学専攻 修了

<松山全世代型防災教育推進講座>

松山市の全世代及び全組織を対象とした防災教育に関する教育研究拠点として、松山市防災教育推進協議会及び松山市内各防災関係の産官学民の組織が連携した防災教育実施のためのシステム構築や防災教育プログラムの開発等、地域防災力の向上に取り組む。

部門長

氏 名 矢田部 龍一 [YATABE Ryuichi]

所 属 防災情報研究センター

役 職 特命教授

専 門 地盤工学

最終学歷 1979.3 京都大学大学院工学研究科修士課程土木工学専攻修了

氏 名 中尾 順子 [NAKAO Junko]

所 属 防災情報研究センター

役 職 特定准教授

専 門 防災教育

最終学歷 1979.3 愛媛大学教育学部 卒業

<u>氏 名 バンダリ ネトラ プラカシュ [BHANDARY Netra Prakash]</u>

所 属 社会共創学部

役 職 特任教授

専 門 地盤防災

最終学歷 2003.3 愛媛大学大学院理工学研究科生産工学博士後期課程 修了

氏 名 二神 透 [FUTAGAMI Tohru]

所 属 防災情報研究センター

役 職 准教授

専門 都市防災計画, 地震火災シミュレータ, 避難シミュレータ, 救急情報工学, 土木計画学, 中山間地防災計画, 住民参加, 合意形成

最終学歴 1990.3 金沢大学大学院自然科学研究科システム科学博士課程 修了

氏 名 羽鳥 剛史 [HATORI Tsuyoshi]

所 属 社会共創学部

役 職 准教授

専 門 社会マネジメント

最終学歷 2006.3 京都大学大学院工学研究科都市社会工学専攻博士課程 修了

氏 名 森 伸一郎 [MORI Shinichiro]

所 属 理工学研究科生產環境工学専攻

役 職 准教授

専 門 地震工学, 地震地盤工学, 防災工学

最終学歷 1980.3 京都大学工学部土木工学科 卒業

氏 名 木下 尚樹 [KINOSHITA Naoki]

所 属 理工学研究科生産環境工学専攻

役 職 准教授

専 門 岩盤工学

最終学歷 1990.3 愛媛大学大学院工学研究科修士課程土木工学専攻修了

氏 名 山本 浩司 [YAMAMOTO Koji]

所 属 防災情報研究センター

役 職 特定教授

専 門 地盤情報工学

最終学歷 2006.3 愛媛大学大学院理工学研究科博士課程生産工学専攻 修了

<海洋レーダ情報高度化研究部門>

津波被害が頻発するインドネシアにおける津波検知や津波波高の測定を可能とするレーダの開発研究及び平常時取得レーダの海洋学、水産学や環境学への活用方法の研究に取り組んでいる。またインドネシア人研究者との研究ネットワークを強化発展させる。

部門長

氏 名 日向 博文 [HINATA Hirofumi]

所 属 理工学研究科生産環境工学専攻

役 職 教授

専 門 沿岸海洋物理学,海岸工学

最終学歷 1991.3 東京工業大学理工学研究科土木工学専攻 修了

氏 名 森本 昭彦 [MORIMOTO Akihiko]

所 属 沿岸環境科学研究センター

役 職 教授

専 門 自然科学一般,大気水圏科学

最終学歷 1996.3 愛媛大学大学院理工学研究科博士前期課程 修了

氏 名 藤 良太郎 [FUJI Ryotaro]

所 属 防災情報研究センター

役 職 特定研究員

<愛媛県等との共同研究>

氏 名 藥師寺 隆彦 [YAKUSHIZI Takahiko]

所 属 防災情報研究センター

役 職 特定教授

専 門 防災・危機管理

最終学歷 1980.3 防衛大学校 卒業

氏 名 山本 浩司 [YAMAMOTO Koji]

所 属 防災情報研究センター

役 職 特定教授

専 門 地盤情報工学

最終学歷 2006.3 愛媛大学大学院理工学研究科博士課程生産工学専攻 修了

氏 名 新宮 圭一 [SHINGU Keiichi]

所 属 防災情報研究センター

役 職 特定研究員

【客員教授】

氏 名 越智 元郎 [OCHI Genro]

所 属 防災情報研究センター

専 門 救急医療,麻酔科

氏 名 高橋 治郎 [TAKAHASHI Jiro]

所 属 防災情報研究センター

専 門 構造地質,防災地質

氏 名 鳥居 謙一 [TORII Kenichi]

所 属 国立研究開発法人土木研究所 研究調整監

専 門 海岸工学, 防災工学

氏 名 島村 誠 [SHIMAMURA Makoto]

所 属 株式会社ウェザーニューズ 技術顧問

専 門 地盤工学, 地震工学

氏 名 高野 広茂 [TAKANO Hiroshige]

所 属 株式会社高知丸高 代表取締役会長

専 門 建設基礎施工技術

氏 名 田村 弘文 [TAMURA Hirohumi]

所 属 株式会社芙蓉コンサルタント 専務執行役員

専 門 土木工学

氏 名 TULADHAR GANGALAL

所 属 ヒマラヤ保全会 会長

専 門 防災教育、ヒマラヤ環境学、開発政治学

氏 名 DIXIT AMOD MANI

所 属 Executive Director&general Secretary,National Society For Earthquake Technology-Nepal

専 門 応用地質学

氏 名 曲田 清維 [MAGATA Kiyotada]

所 属 防災情報研究センター

専門住居学,建築計画,都市計画

氏 名 松本 啓治 [MATSUMOTO Keiji]

所 属 防災情報研究センター

専 門 まちづくり

氏 名 高峯 総一郎 [TAKAMINE Souichiro]

所 属 国土交通省 都市局まちづくり推進課 企画専門官

専 門 まちづくり

氏 名 羽藤 英二 [HATO Eiji]

所 属 東京大学大学院工学研究科

専 門 交通工学,都市空間工学,都市交通計画,風景づくり

氏 名 藤井 智史 [FUJII Satoshi]

所 属 琉球大学工学部

専 門 波動信号処理,ニューラルネットワーク応用,リモートセンシング

氏 名 高橋 智幸 [TAKAHASHI Tomoyuki]

所 属 関西大学社会安全学部

専 門 水災害

【客員准教授】

氏 名 RANJAN DAHAL KUMAR

所 属 ネパール国立トリブバン大学

専 門 応用地質学, 防災地質学

氏 名 奥村 与志弘 [OKUMURA Yoshihiro]

所 属 関西大学社会安全学部

専 門 災害事例分析

氏 名 片岡 智哉 [KATAOKA Tomoya]

所 属 東京理科大学理工学部

専 門 水工学 (海岸工学,河川工学)

【客員研究員】

氏 名 石飛 直彦

所 属 復建調査設計株式会社 松山支店 技術課長

専 門 まちづくり、社会実験調査

氏 名 泉谷 昇

所 属 NPO法人いよココロザシ大学 理事長・学長

専 門 まちづくり、社会実験調査

氏 名 浅子 佳英

所 属 タカバンスタジオ

専 門 まちづくり、社会実験調査

【協力教員】

法 文 学 部:寺内 浩 (協力分野:古文書調査, 歴史研究)

理工学研究科:小林 真也 (協力分野:災害時の情報伝達)

理工学研究科:井内 <u>國光</u> (協力分野:渇水被害,水資源システム,地球温暖化,地盤沈下,

土壌・地盤・水汚染、災害発生時の災害調査と情報提供)

理工学研究科: 倉内 慎也 (協力分野: 防災計画)

2. 活動状況

2.1活動報告

2.1.1 報告会

名 称	開催日等	参加 人数	報告者
平成 30 年度活動報告会	R1.5.31 (金)	197	防災情報研究センター
十次 50 千及冶到银口云	(南加記念ホール)	197	森脇 亮 外
令和元年台風 19 号に係る災害調査報告会	R1.10.30 (水)	61	防災情報研究センター
(1)	(南加記念ホール)	01	森脇 亮 外
令和元年台風 19 号に係る災害調査報告会 (2)	R1.12.3 (火) (社会連携推進機 構研修室)	23	防災情報研究センター 森 伸一郎

2.1.2 講演会・シンポジウム

2.1.2 再演会・ソフホンリム			
名 称	開催日等	参加人数	講演者
令和元年を寿ぐ国際防災フォーラム 「松山市の防災教育モデルのネパールへ の展開を考える」	R1.5.10(金) (校友会館サロン)	46	防災情報研究センター 矢田部 龍一 外
松山市防災教育推進協議会&学生防災リ ーダー令和元年度第1回防災講演会	R1.7.8 (月) (社会連携推進機構 研修室)	21	防災リーダークラブ 上岡 伶奈 氏 外
令和元年度第 1 回インフラ整備に関わる 先端学術技術講演会	R1.8.23(金) (南加記念ホール)	100	西日本高速道路 (株) 四国支 社保全サービス統括課長 竹縄 謙作 氏 外
防災特別講演会「南海トラフ巨大地震へ の事前復興デザインを考える」	R1.9.7 (土) (高知工科大学)	230	東京大学 羽藤 英二 氏 外
松山市防災教育推進協議会&学生防災リ ーダー令和元年度第2回防災講演会	R1.9.25 (水) (工学部E411)	16	洲本市議会議員 高島 久美子 氏 外
令和元年度第3回防災講演会 西日本豪雨災害時の交通管制と交通マネ ジメント	R1.10.16(水) (工学部大会議室)	80	広島県警察本部交通部交通規制課交通管制室室長 前岡 孝 氏 外
松山市防災教育推進協議会&学生防災リ ーダー令和元年度第3回防災講演会	R1.12.14(土) (社会連携推進機構 研修室)	11	防災情報研究センター 矢田部 龍一 外
i-Construction シンポジウム	R2.1.17 (金) (南加記念ホール)	178	東京大学 永谷 圭司 氏 外
地球主導による地球温暖化対策フォーラム	R2.2.10 (月) (メディアホール)	70	防災情報研究センター 森脇 亮 外

松山防災リーダー育成センター報告会	R2.2.20 (木)		防災情報研究センター
松山全世代型防災教育-家族の絆と地域		105	矢田部 龍一 外
の絆を深める一	(南加記念ホール) 		
防災シンポジウム「国土強靱化地域計画	R2.2.21 (金)	990	東京大学
の策定と事前復興デザイン」	(南加記念ホール)	230	羽藤 英二 氏 外

2.1.3 令和元年度愛媛大学公開講座「防災士養成講座」

(1)日程及びカリキュラム

西 条 8月 3日(土)~4日(日)

第1回 8月22日(木)~23日(金)

第2回 8月24日(土)~25日(日)

第3回 10月17日(木)~18日(金)

第4回 10月19日(土)~20日(日)

日程	会場	時限	時間	講義内容	講師	
			_	9:15~9:30	オリエンテーション	
		1 時限目	9:30~10:30	防災士の役割	松山市 門田 侑子	
	松山	2時限目	10:40~11:40	近年の自然災害に学ぶ	愛媛大学 矢田部 龍一	
1	市保健所			昼(防災ビデオ上映)		
日	•	3 時限目	12:40~13:40	耐震診断と補強	愛媛大学 二神 透	
目	消防合同	4 時限目	13:50~14:50	都市防災	愛媛大学 二神 透	
		5 時限目	15:00~16:00	風水害、土砂災害とその対策	愛媛大学 森脇 亮	
		6 時限目	16:10~17:10	地震のしくみと被害	愛媛大学 高橋 治郎	
			17:10~17:20	事務連絡		
		1 時限目	9:30~11:40	災害から命を守る救助技術	松山市消防局	
	2時限目		9.30.911.40	実技指導	松山巾用的局	
	松山市保健所			昼食(防災ビデオ上映)		
2	健所・	3 時限目	12:40~13:40	避難所運営	松山市 渡部 恵子	
	消防合	4 時限目	13:50~14:50	地域の防災活動	松山市 芝 大輔	
	同 庁	5 時限目	15:00~16:00	地域防災計画と防災マップ	松山市 髙橋 史朗	
	舎	6 時限目	16:10~17:10	松山市における災害とその対応	松山市 小原 友弘	
		_	17:30~18:30	防災士資格取得試験	日本防災士機構が実施する防災士資格取得試験です	

(2) 申込・修了者数

			申込	者		修了者			
		①西条	②愛大	③松山市	計	①西条	②愛大	③松山市	計
西条	8/3,4	84			84	77			77
第1回	8/22,23		81	57	138		81	57	138
第2回	8/24,25		76	63	139		75	63	138
第3回	10/17,18		96	47	143		93	47	140
第4回	10/19,20		104	30	134		100	30	130
計		84	357	197	638	77	349	197	623

(3) 防災士資格取得試験結果

		①西条		②愛大		③松山市		≣†	
		受験者数	合格者数	受験者数	合格者数	受験者数	合格者数	受験者数	合格者数
西条	8/3,4	77	44					77	44
第1回	8/22,23			81	74	57	50	138	124
第2回	8/24,25			75	69	63	55	138	124
第3回	10/17,18			93	84	47	44	140	128
第4回	10/19,20			100	94	30	27	130	121
再試験		40	19	17	8	16	8	73	35
計		117	63	366	329	213	184	696	576

2. 2 令和元年度 社会基盤メンテナンスエキスパート (ME) 養成講座

1. 実施概要

(1) ME養成講座

申込受付: 令和元年5月27日(月)~令和元年6月24日(月)

受付審查: 令和元年6月25日(火) 愛媛大学運営委員会(大学委員)

定員 25 人に対して 26 名の申し込み, 25 名 (行政 11 名, 民間 14 名) を選別

受講生: 25 名 (行政 11 名, 民間 14 名)

ME養成講座カリキュラム

【p. 18 参照】

【p. 20 参照】

(愛媛大学履修証明プログラムとして 12 日間の講座と e ラーニング(橋梁関係)の 121.5 時間)

講座期間		科目シリーズ
前半(第1,2日)	8月29日(木)~8月30日(金)	インフラマネジメント(1)
(第3~5日)	9月11日(水)~9月13日(金)	①橋梁のメンテナンス
(第6,7日)	9月19日(木)~9月20日(金)	②トンネル, 下水道のメンテナンス
後半(第8~10日)	10月2日(水)~10月4日(金)	③港湾・海岸施設,河川構造物のメンテ ④斜面・擁壁のメンテナンス
(第 11, 12 日	10月10日(木)~10月11日(金)	地域地盤,維持管理の現状,新技術などインフラマネジメント(2),メンテナンス
		技術者倫理,ワークショップ

①~④はシリーズ特別受講科目(下記)

ME認定試験

筆記試験: 令和元年 11 月 6 日(水) 午前 択一問題試験(25 問,試験時間 120 分)

同上 午後 論文問題試験(2問,試験時間180分)

プレゼンテーション・面接試験: 令和元年 11 月 19 日(火)(発表 7 分,質疑 8 分)

※再受験者(択一問題試験のみ): 2 名(平成 28 年度、平成 30 年度不合格者)

ME認定審査と結果

審査会: 令和元年 11 月 19 日(火) 17:30~18:15

審査委員: 社会基盤メンテナンスエキスパート運営委員会(愛媛大学4名,外部5名)

認定試験合格者(四国ME): 26名(うち1名は再受験者)

不合格者: 1名(再受験者)

特別受講

シリーズ受講: 橋梁のメンテナンス (第3日~第5日) 2名

オープン聴講: 橋梁のメンテナンス、斜面・擁壁のメンテナンス 等 3名

MEのフォローアップ受講 6名

橋梁実習1日受講: 希望者が少ないため中止

四国ME認定式(履修証と認定証の授与式)

開催日: 令和2年1月17日(金)11:00~12:00

場 所: 愛媛大学南加記念ホール

(2) i-Construction シンポジウム

開催日: 令和2年1月17日(金)14:00~17:15

場 所: 愛媛大学南加記念ホール 参加者: 約180名(ME生含む)

2. 推進協議会等の開催

5月21日 愛媛社会基盤メンテナンス推進協議会 (第1回)

5月21日 社会基盤メンテナンスエキスパート運営委員会(第1回)

6月14日 愛媛MEの会総会

10月30日 社会基盤メンテナンスエキスパート運営委員会(第2回)

11月19日 社会基盤メンテナンスエキスパート運営委員会(四国ME認定試験審査会)

【p.24 参照】

3. 受講費用の有料化を開始

本講座は文部科学省事業の研究費で賄われていたが研究期間が終了したため、本年度より、受講費の有料化を開始した。そのほかに外部資金として「平成31年4月度第10期地球環境維持活動費助成金(一般財団法人上田記念財団)300万円」などを得た。

【有料化】受講費用 185,000 円, ME登録料 3,000 円

【支援策】民間企業に対しては受講料の補助手段の一つとして,「専門実践教育訓練給付金,キャリア形成促進助成金(厚生労働大臣指定)」の登録手続きを行った。

4. 受講効果の計測 【p.25 参照】

従来と同様に「受講前後の実力診断試験」を実施し、育成効果を計測した。これより同程度の受講効果となっていることが把握される。

表1 「愛媛社会基盤メンテナンス推進協議会」の参加組織

愛媛大学 防災情報研究センター/理工学研究科環境建設工学コース,国土交通省 四国地方整備局企画部/松山河 川国道事務所・愛媛県庁 土木部管理局土木管理課・松山市役所 総務部技術管理課・今治市役所 都市建設部道路 課・宇和島市役所 建設部建設課・八幡浜市役所 産業建設部建設課・新居浜市役所 建設部道路課・西条市役所 建設部建設講・西条市役所 建設部建設課・西条市役所 産業建設部土木管理課・四国中央市役所 建設部建設課・西条市役所 産業建設部建設課・東温市役所 産業建設部建設課・上島町役場 建設課・久万高原町役場 建設課・松前町役場 産業建設部まちづくり課・砥部町役場 建設課・内子町役場 建設デザイン課・伊方町役場 建設課・松野町役場 建設環境課・鬼北町役場 建設課・愛南町役場 建設課・西日本高速道路(株)四国支社・(一社)愛媛県建設業協会・愛媛県土木施工管理技士会・(一社)建設コンサルタンツ協会四国支部愛媛県部会・(一社)愛媛県測量設計業協会・(一社)全国地質調査業協会連合会 四国地質調査業協会愛媛支部・愛媛県管工事協同組合連合会・(一社)全国特定法面保護協会 四国地方支部 愛媛県事務所・愛媛県法面工事業協同組合・NPO 法人 愛媛県建設技術支援センター・愛媛県技術士会

5. カリキュラム構成

令和元年度 社会基盤メンテナンスエキスパート養成講座 時間割

科目	目枠	開催日	1時限目 (8:30~10:00)	2時限目 (10:20~11:50)	3時限目 (12:40~14:10)	4時限目 (14:30~16:00)	5時限目 (16:20~17:50)	(18:30~20:00)	
	1	8/29 (木)	【開講式】 ガイダンス 実力診断	社会基盤と 維持管理 (総論)	社会基盤のアセ	<u>アットマネジメント</u>	グループ事例研究	講義,事例研究のレポート作成	
	2	8/30 (金)	劣化モデルと 評価手法	劣化モデルと 評価手法〈演習〉	舗装の設計と 維持管理	道路附帯設備の 点検と補修工法	地域の社会基盤と 維持管理の 取り組み	講義,事例研究のレポート作成	
	3	9/11 (水)	橋梁上部工の 設計と維持管理 (鋼橋)	橋梁上部工の 設計と維持管理 (コンクリート橋)	〈実習〉 コンクリートの 耐久性試験	橋梁上部工の 設計と維持管理 (床版)	橋梁構造物の 下部工の 設計と維持管理	講義,事例研究のレポート作成	
前半	4	9/12 (木)	コンクリート橋の 損傷と補修工法	鋼橋の損傷と対策	橋梁の補修設計	橋梁構造物の 基礎工の 設計と維持管理	橋梁の耐震補強	講義,事例研究のレポート作成	
	5	9/13 (金)	橋梁の 維持管理手法		〈実習, 演習〉 橋梁	実習, 演習〉 橋梁の点検と診断, 補修			
	6	9/19 (木)	トンネルの設計	トンネルの変形と補修工法	下水道の 維持管理				
	7	9/20 (金)	トンネルの 点検と診断	<	実習、演習〉トンネ	講義,事例研究のレポート作成			
	8	10/2 (水)	港湾・海岸施設の 維持管理と点検	港湾・海岸施設の 損傷と補修	〈実習〉 海岸施設の	の点検と診断, 補修	グループ事例研究	講義,事例研究のレポート作成	
	9	10/3 (木)	河川構造物の 維持管理	河川堤防の 損傷と補修	斜面の設計と 維持管理	斜面の設計と 維持管理〈演習〉	グループ事例研究	講義,事例研究のレポート作成	
後半	10	10/4 (金)	擁壁の設計と 維持管理	擁壁の設計と 維持管理 〈演習〉	〈実習〉 自然斜面	,落石,切土,擁壁の	の点検と診断, 補修	講義,事例研究のレポート作成	
	11	10/10 (木)	四国・愛媛県の 地形と地質	地域の地盤特性と 健全度評価	維持管理における AI技術	維持管理の 新しいアプローチ (橋梁の簡易点検)	〈実習〉 詳細点検のための 非破壊検査技術	講義,事例研究のレポート作成	
	12	10/11 (金)	リスク マネジメント	ライフサイクル コスト	メンテナンス 技術者倫理	社会基盤と維持なアークショップ	- 一 人名の世紙	講義,事例研究のレポート作成	
			橋梁	工学	コンクリート枠	 構造物の損傷	鋼構造物の	の損傷	
	eラー	-ニング	構造物の	補修•補強	共通の損傷		橋の点検要領		
			コンクリー	ト橋の点検	鋼橋0	り点検	構造物の詳	細調査	

【内訳】			
座学	55.5	時間	37 コマ
演習	7.5	時間	5 コマ(実習内含む)
実習	22.5	時間	15 コマ
グループ研究	4.5	時間	3 コマ
レポート作成	18.0	時間	12 コマ
eラーニング	13.5	時間	9 コマ
	121.5	時間	(1コマ=1.5時間)

※赤字 H30 からの変更 ※紫字 時間割変更

令和元年度 社会基盤メンテナンスエキスパート養成講座 時間割

科目枠		開催日	1時限目 (8:30~10:00)	2時限目 (10:20~11:50)	3時限目 (12:40~14:10)	4時限目 (14:30~16:00)	5時限目 (16:20~17:50)	(18:30~20:00)			
	1	8/29 (木)	開講式 ガイダンス			ネジメント (1) 'ネジメント	グループ研究	講義等のレポート作成			
	2	8/30 (金)	劣化 -	Eデル		上路 附帯設備)	社会基盤の 整備状況				
	3	9/11 (水)	橋梁のメ	ンテナンス							
前半	4	9/12 (木)									
	5	9/13 (金)		(7	フィールド実習,演習)					
	6	9/19 (木)	トンネルの)メンテナンス	下水道	(管路)のメンテナン	ス				
	7	9/20 (金)		(7	フィールド実習, 演習)					
	8	10/2 (水)	港湾・海 メンテ	岸施設 の ナンス	(フィールド)	実習, 演習)	グループ研究				
	9	10/3 (木)	河川構 メンテ	造物 の ナンス		(演習)	(ME報告)				
後半	10	10/4 (金)	斜面, 擁壁等	のメンテナンス	(*	フィールド実習,演習))				
	11	10/10 (木)	地域の地	盤と災害		寺管理の新調査 技 アプローチ, 非破					
	12	10/11 (金)	インフラマ ス LCC, リスク	ネジメント (2) マネジメント	メンテナンス 技術者倫理	ワークショッ?	プ閉講式				
eラーニング (橋梁構造物の維持管理: 受講前の学習)											

	コマ数		コマ数
開講式	1	河川	2
		斜面・擁壁等	7
グループ研究	3	地盤・地質	2
インフラマネジメント	5	現況・新アプローチ等	4
道路	0	インフラマネジメント	2
道 路 橋 梁	$\frac{2}{15}$	メンテナンス技術者倫理	1
備 采 トンネル	10 7	ワークショップ	1.5
下水道	3	2 · 2 2 i 2 2	1.0
港湾海岸	4	閉講式	0.5

6. 受講生

(1) 受講生 計 25 名

四国地方整備局(松山河川国道事務所) 1名

愛媛県 2名

市町(今治,八幡浜,西条,大洲,

伊予,四国中央,東温,砥部) 8名 小計11名

民間(旧公団,協会) 0名

民間(施工系) 3名

民間 (コンサルタント系, 調査) 10名

民間(測量ほか) 1名 小計14名

(2) 受講生の専門

※現在の専門○, 今後の専門△, 赤:現在かつ今後

	橋梁	トンネル	斜面·擁壁	港湾·海岸	河川	下水道	その他	その他 道路	その他 舗装	その他 砂防	その他 水道
現在〇	17	5	15	5	10	3	5	3	0	0	1
今後△	23	13	18	10	15	8	5	3	0	0	1
	0	0				0	0				0
	0	Δ	0	Δ	0						
	Δ		0	0							
	0		Δ	0	Δ						
	0	0	0	Δ	Δ						
		0	0								
	Δ	Δ			0		0	0			
	0										
	Δ	Δ	0	Δ	0	0					
	0		0		Δ	Δ					
	0		0	Δ		0					
						Δ	0	0			
	Δ	Δ	Δ	0	0						
	0	Δ			0	Δ					
	0		Δ								
	0	Δ	0		0	Δ					
	Δ		0		0						
	0		0		0						
	0	0	0								
	0	Δ					0				
	0		0								
	0		0	0	Δ	Δ					
	Δ		0		0						
	0	0		0	Δ		0	0			
	0	Δ	0	Δ	0						

(3) 特別受講者

シリーズ受講: 橋梁のメンテナンス (第3日~第5日) 2名

オープン聴講: 橋梁のメンテナンス, 斜面・擁壁のメンテナンス 等 3名

MEのフォローアップ受講 6名

四国MEの所属構成

令和元年度までの6年間で、145名の四国MEを輩出

	行政機関				民間会社				
年度	国交省	愛媛県	市	町	公益 会社	コンサル	建設会社	測量 会社	その他
1期:2014 (H26)	1	2	6	1	2	8	2	1	1
2期:2015 (H27)	1	2	6	4	1	5	1	0	1
3期:2016 (H28)	1	2	6	0	1	9	0	2	0
4期:2017 (H29)	1	5	5	3	1	9	1	4	2
5期:2018 (H30)	1	0	8	1	0	7	2	1	1
6期:2019(R01)	1	2	7	1	0	10	3	1	0
合計	6	13	38	10	5	48	10	10	5
		6	7		78				

【経緯】

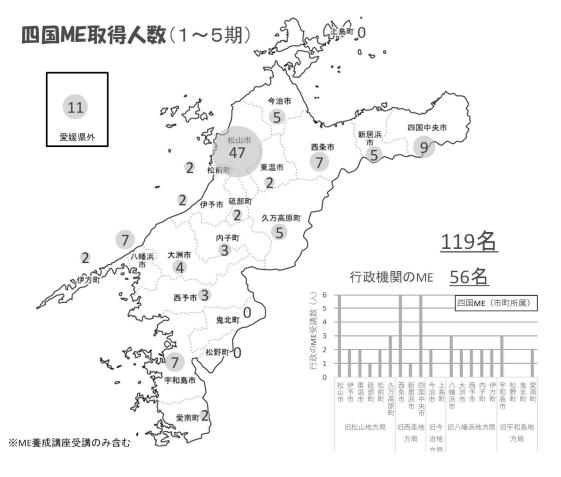
平成25年度(2013年度) 試行的に3日間の講座を実施

平成26,27年度 計10日間の講座を実施 ⇒ 1,2期生

平成28年度~ 計12日間(履修時間:121.5時間)の講座 ⇒ 3期生

(愛媛大学の「履修証明プログラム」の要件を満たす)

平成29年度(2017年度)もプログラムを改良 ⇒ 4期生



2

7. 実施状況

(1) 座学・演習



地域の社会基盤と維持管理の取り組み



斜面の設計と維持管理(演習)



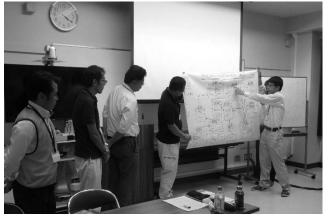
新設講義:維持管理における AI 技術



グループ事例研究

(2) ワークショップ





(3) 実習



橋梁の点検と診断、補修(愛大構内)



橋梁の点検と診断,補修(横河原橋)



下水道の点検と診断,補修(愛大構内)



トンネルの点検と診断、補修(砥鹿山隧道)



海岸施設の点検と診断,補修(立岩海岸)



自然斜面,落石,切土,擁壁の点検と診断,補修 (東川町・県道317,湯山柳・一般県道湯山北条線)

(4) 四国 ME 認定式(履修証明・認定証授与)







開会挨拶(森脇センター長)

履修証と ME 認定証の授与

講評と激励の言葉(吉井教授)





ME 認定者

8. 受講前後の実力診断試験(育成効果の計測)

メンテナンス基礎力の向上

2017年度(平成29年度)に,新たに受講前後の実力診断試験を実施

- ・ある老朽化が進む橋梁(実習フィールド) のコンクリート破片を見せ、それより想像 されることを次の5項目で問う
- ・各問に対し書き出された回答数(5個以上 は"もっと書けます"=5)より, 受講前後で 受講者の基礎力の変化を見る





【令和元年度】

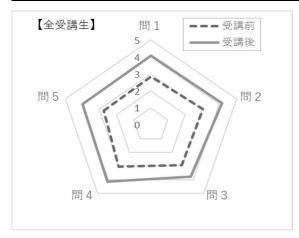
【全受講生25人】

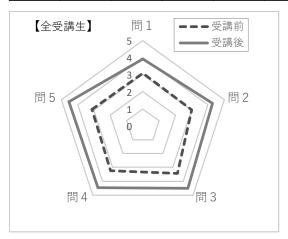
	問1	問 2	問3	問 4	問 5
受講前	2.8	3.0	2.9	3.0	2.8
受講後	4.1	4.2	3.8	4.1	4.0

【平成30年度】

【全受講生22人】

	問1	問 2	問 3	問 4	問 5
受講前	3.1	3.0	3.5	3.2	3.1
受講後	3.9	4.3	4.5	4.5	4.5

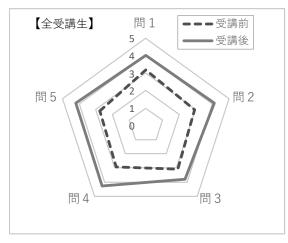




【平成29年度】

【全受講生31人】

	問1	問 2	問 3	問 4	問 5
受講前	3.2	2.9	3.1	2.9	2.8
受講後	4.0	4.1	3.8	4.3	4.2



- 問1)破片より考えられる状態と原因
- 問2) 状況を正確に点検診断する手法
- 問3) この橋梁の管理上で考えること
- 問4) 同様な事態が生じる構造物
- 問 5) インフラ老朽化問題に取組むべき課題

2. 3 令和元年度 南海トラフ地震事前復興共同研究

1. 概要

本研究は、今後 30 年内の発生確率が 70~80%に達した「南海トラフ地震」の被害からの迅速な復旧・復興を図り、災害時の社会経済への影響を最小限にとどめるためるために、行政機関および東京大学と共に事前復興デザイン研究に取り組むものである。

対象地域:津波リスクの高い宇和海沿岸地域

研究機関:愛媛県、宇和海沿岸5市町(宇和島市、八幡浜市、西予市、伊方町、愛南町)

愛媛大学(防災情報研究エンター),東京大学(復興デザイン研究体)

研究費用:年間4,500万円(各研究機関の当分負担による)

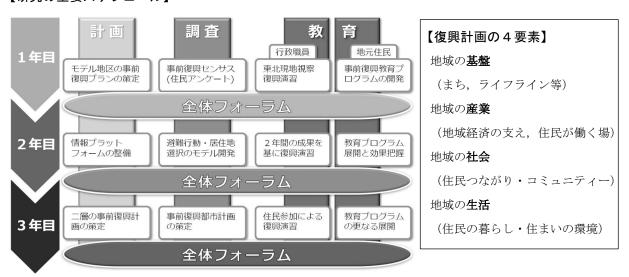
研究期間:平成30年度からの3年間

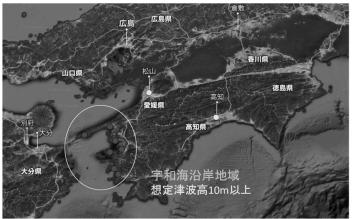
研究参加者:防災情報研究センター所属教員および所属を越えた参加(事前説明・意見交換)

2. 研究計画

研究の主要スケジュールは、下図のとおりである。復興デザインの 4 要素のために、「計画」、「調査」、「教育」を軸として本研究に取り組む。

【研究の主要スケジュール】





【計画:事前復興デザイン】

二層の事前復興計画の策定



令和元年度までの実施状況 3.

愛媛県,宇和島市,八幡浜市,西予市,伊方町,愛南町愛媛大学防災情報研究センター,東京大学復興デザイン研究体



2. 4 令和元年度 松山市との連携について

1 地域連携職員の受け入れ

(1)目的

平成30年7月豪雨災害を受け、松山市の防災力向上のため、本センターに松山市の職員1名を受け入れ実践力を身につけさせる。

(2) 受入期間

平成31年4月1日~令和2年3月31日

(3) 受け入れ者

松山市総合政策部危機管理課

2 松山全世代型防災教育研究部門(松山防災リーダー育成センター)の開設

(1)目的

本研究部門は、大規模自然災害に備えるために、小学生から高齢者に至るまでの切れ目の ない防災教育実施のためのシステム構築と防災教育プログラムの開発ならびに実践を通して、 地域防災力の飛躍的な向上を図る。

具体的には、松山市と東京大学復興デザイン研究体ならびに愛媛大学防災情報研究センターと防災関連の市内の産官学民の組織が連携して、全世代型ならびに全組織対応の防災研修プログラムの作成と防災教育実践に取り組む。そして、50万都市である松山市の全市民を対象として、地域防災教育、学校防災教育、企業 BCP など、継続的、自律的、かつ効率的な防災教育モデルの構築を図ることを目的としている。

(2) 受入期間

令和元年10月1日~令和5年3月31日

(3)研究内容

本研究部門の研究内容としては、以下のような取り組みを行う。

1) 防災リーダー育成システムの開発

事前の避難率を高め、犠牲者ゼロを目指すためには、また、効果的な避難所運営などを行うためには、徹底した防災教育や防災訓練が効果的である。しかし、現在、実施されている防災教育は、継続性ときめ細やかさに欠けているように思われる。

ところで、町内会単位や全小中学校などを対象として、継続的で、かつ、綿密な防災教育を実施するためには、多数の防災教育リーダーを必要とする。そこで、大学生や高校生などの学生、また防災士や自主防災組織の責任者などを防災リーダーとして育成するための研修プログラムの開発などに関する研究を行う。

2) 学校防災教育システムの開発と実践

学校防災教育に関しては、すでに様々な取り組みがなされている。しかし、小学校、中学校、高等学校、そして大学と連続性を有する防災教育プログラムが構築されている例はない。

そこで、本研究では、小学校から大学まで一貫した防災教育プログラムの開発に取り組む。 その中で、中学校や高等学校では防災士資格取得に加えてジュニア防災リーダーの資格制度 の構築、大学では学生防災リーダーの資格制度の導入や大学認定の防災教育カリキュラムの 構築などに取り組む。

3) 地域防災教育システムの開発と実践

地域防災に関しては実に様々な取り組みがなされている。しかし、避難勧告や避難指示へ の住民の対応をみると、実効性にはまだまだ問題があるように感じられる。

本研究では、教育心理学などに基づいた効果的な地域防災研修プログラムの開発に取り組む。また、防災士や学生防災リーダーを対象として、指導者育成のカリキュラムの開発にも取り組む。

このプログラムで育った防災リーダーが、小中学校での防災教育や地域防災教育、更には企業 BCP 推進の中核メンバーとして活躍し、そこで実践力を身に付けてもらうシステムを構築する。

4) 企業 BCP システムの開発と展開

各組織が災害に備えて BCP を策定しておくことは、組織の存続ひいては地域の存続のために必須の課題である。しかし、松山市内の各組織の BCP の策定はまだまだ十分ではないようである。例えば、産業界においては、特に中小企業での取り組みが少し遅れているようである。また、災害弱者となる人たちを多く抱えている福祉系の施設でも BCP の策定が少し遅れている。

そこで、本研究では企業 BCP や福祉系の施設での BCP 策定のための効果的な講習プログラム開発のための研究と実践を行う。

5) 外国人防災教育システムの開発と展開

グローバル化の時代を迎えている上に、外国人観光客などの短期滞在者の急増もあり、外国人への防災対応は喫緊の課題の一つである。そこで、本研究では、松山市内の外国人留学生を防災アンバサダーとして育成し、彼らを防災リーダーとして、外国人滞在者への防災教育を実施する。また、地域や学校での防災教育に積極的に関わることにより、国際理解の推進と防災教育の効率化にも寄与する。

それとともに、開発した松山全世代型防災教育モデルを、留学生防災アンバサダーなどを 通してネパール等のアジアの自然災害多発国家に移転する方策などについて研究する。これ を通して、アジア、ひいては世界の防災教育の推進に寄与していく。

6) 総合防災教育システムの開発と展開

大規模自然災害は、個人の尊い命を奪うだけでなく、町を破壊し、住民の生活基盤を奪う。 このような自然災害に立ち向かう力をつけるためには、小学生からの継続した防災教育が必要である。それとともに、あらゆる組織体が連携した総合的な防災や災害復旧への取り組みが求められる。

そこで、小学校、中学校、高等学校、大学、地域企業、それと地域社会の全ての組織が連携した総合的な防災教育の在り方について研究する。また、地方創成には、地方の発展を支える優秀な人材の育成が何より必須の課題である。そのため、小学校から高校、また、大学までの学校防災教育を通して、地域を知り、家族と地域を愛する精神を育み、卒業後は地域のリーダーとして活躍する人材育成の仕組みについても研究する。

2. 5 アーバンデザイン研究部門

アーバンデザイン研究部門の令和元年度の主な活動は、下記のとおりです。詳しくは、別冊「松山アーバンデザインセンター年報」をご覧ください。

※「松山アーバンデザインセンター年報」については、防災情報研究センターまで問合せください。

2019.04.01-2020.03.31: もぶるラウンジ利用者数調査

2019.04.03: 第205回「まち@ラヂ」放送

2019.04.04: まちなかマガジンもぶる 編集ワークショップ

2019.04.10:第206回「まち@ラヂ」放送

2019.04.10: 第13回松山市都市再生協議会

2019.04.10: 松山駅まち会議(作業部会)

2019.04.15: 既成市街地 UDC 研究会

2019.04.17: 第207回「まち@ラヂ」放送

2019.04.17: 道後温泉活性化懇談会 (観光資源化関係)

2019.04.18: JR 松山駅まちづくり土地利用勉強会(第1回)

2019.04.21: JAZZLIVE ~On the sunny side on the street~ in お城下マルシェ花園

2019.04.22: 視察対応(豊橋科学技術大学・小野悠講師・学生、計7名)

2019.04.23: まちなかマガジンもぶる 編集ワークショップ

2019.04.24: 第208回「まち@ラヂ」放送

2019.04.24: 視察(九州大学学研都市機構(UDCQ)等、計2名)

2019.05.01:第209回「まち@ラヂ」放送

2019.05.07: 市駅前商店街勉強会

2019.05.08:第210回「まち@ラヂ」放送

2019.05.09: 「公共デザイン研究セミナー ~これからの知的生産と公共調達のあり方を考える~ in 高松」 (尾崎講師登壇)

2019.05.11-12: アーバンデザインスクール基礎編

2019.05.14: ヴィジョン検討会 (環境)

2019.05.15: 第211回「まち@ラヂ」放送

2019.05.18: 視察(愛媛大学社会共創学部科文化資源マネジメントコース巡検、計 40 名程度)

2019.05.19: みんなで演奏会 in お城下マルシェ花園

2019.05.19: 視察 (伊予市商業組合・伊予市役所・荒谷建設、計21名)

2019.05.21: JR 松山駅まちづくり土地利用勉強会(第2回)

2019.05.21: まちなかマガジンもぶる 編集ワークショップ

2019.05.22:第212回「まち@ラヂ」放送

2019.05.23: 通行量調査(みんなのひろば前面道路・平日)

2019.05.23: 視察(愛大社会共創学部1年、計35名)

2019.05.24: アーバンデザインスクール実践編#1 レクチャー (横浜国立大学 野原卓准教授)

2019.05.25: アーバンデザイン研究会 Vol.12

「ストリートデザインマネジメントの現在」(横浜国立大学 野原卓准教授)

2019.05.26: 通行量調査(みんなのひろば前面道路・休日)

2019.05.29: 第213回「まち@ラヂ」放送

2019.05.30-2020.3.31:地域資源 MAP づくりプロジェクト「花園今昔ものがたり」

2019.05.31: アーバンデザインスクール実践編#2

2019.06.01:通行量調査(花園町通り西側、東側・休日)

2019.06.05: 第214回「まち@ラヂ」放送

2019.06.06: 通行量調査(花園町通り西側、東側・平日)

2019.06.09-06.23: もぶるラウンジ企画展「旅と鉄道展」

2019.06.12:第215回「まち@ラヂ」放送

2019.06.13: アクティビティ調査・予備調査(花園町通り、市駅前・平日)

2019.06.16: 鉄道模型ミニ走行会(もぶる鉄道部) in お城下マルシェ花園

2019.06.18: まちなかマガジンもぶる 編集ワークショップ

2019.06.18: まちなかマガジンもぶる 編集ワークショップ

2019.06.19: 第216回「まち@ラヂ」放送

2019.06.21: 視察 (清水建設・東京大学、3名)

2019.06.21: アーバンデザインスクール実践編#3

2019.06.22:イベント参加者アンケート調査(ストリートイベント)

2019.06.22: ストリートイベント in 花園町通り「道 de 遊ぼう」

2019.06.23: アクティビティ調査・予備調査(花園町通り、市駅前・休日)

2019.06.26:第217回「まち@ラヂ」放送

2019.07.01: 既成市街地 UDC 研究会

2019.07.01-07.20:映像上映「天の川銀河紀行」in もぶるラウンジ

2019.07.02: まちなかマガジンもぶる 編集ワークショップ

2019.07.03: 第218回「まち@ラヂ」放送

2019.07.04: 視察(東京大学・新建築・NTT 都市開発まち歩き。12 名)

2019.07.05: アクティビティ調査・予備調査(花園町通り、市駅前・平日)

2019.07.05:「東京大学工学部社会基盤学科・基礎プロジェクト 最終講評会」(尾崎講師登壇)

2019.07.05: 視察(韓国(財)地域文化振興院、15名)

2019.07.06:イベント参加者アンケート調査(ストリートイベント)

2019.07.06: ストリートイベント in 花園町通り「道 de 学ぼう」

2019.07.07: アクティビティ調査・予備調査(花園町通り、市駅前・休日)

2019.07.10:第219回「まち@ラヂ」放送

2019.07.12: アーバンデザインスクール実践編#4

2019.07.16: まちなかマガジンもぶる 編集ワークショップ

2019.07.17: 第220回「まち@ラヂ」放送

2019.07.20: 天体観望会 in お城下マルシェ花園

2019.07.20: 松山ブンカラボ主催「まちと文化とアートの学校」(尾崎講師登壇)

2019.07.21-09.18: もぶるラウンジ活動写真スライドショー上映(2019/1-2019/6活動分)

2019.07.22:「愛媛大学社会連携推進機構研究協力会特別講演会」特別講演(尾崎講師登壇)

2019.07.23: ヴィジョン検討会(防災)

2019.07.24: 第221回「まち@ラヂ」放送

2019.07.26: 松山駅前広場イベント「よいまち」

2019.07.31: 第222回「まち@ラヂ」放送

2019.07.31:松山スマートシティ推進コンソーシアム設立・参加

2019.08.01: JR 松山駅まちづくり土地利用勉強会

2019.08.01-2020.03.31:アクティビティ調査・長期調査(花園町通り)

2019.08.02: 国土交通省スマートシティ先行モデル事業に採択

2019.08.03: アーバンデザインスタジオ Vol.1 最終講評会

2019.08.03: アーバンデザイン研究会 Vol.13

「駅とランドスケープデザイン」(高野ランドスケープ プランニング 村田周一氏)

2019.08.03-10.31: アーバンデザインスタジオ成果パネル展示

2019.08.07: 第223回「まち@ラヂ」放送

2019.08.09: アーバンデザインスクール実践編#5

2019.08.14:第224回「まち@ラヂ」放送

2019.08.19: 市駅前商店街勉強会 2019.08.19: 市駅前商店街勉強会

2019.08.20: まちなかマガジンもぶる 編集ワークショップ

2019.08.21: 第225回「まち@ラヂ」放送 2019.08.28: 第226回「まち@ラヂ」放送

2019.08.31-09.01: UDC イニシアチブ主催「アーバニスト養成講座」(尾崎講師登壇)

2019.09.03: 松山駅まち会議(作業部会)

2019.09.03: アーバンデザインスクール実践編#6

2019.09.04:第227回「まち@ラヂ」放送

2019.09.04: 視察(大成建設株式会社、12名)

2019.09.05: 視察(特定非営利活動法人都市デザインワークス、10名)

2019.09.06: 道後温泉活性化懇談会(観光資源化関係)

2019.09.07: もぶるラウンジ休日企画レゴ(R)プール

2019.09.08: もぶるラウンジ休日企画レゴ(R)プール

2019.09.09: 道後温泉活性化懇談会

2019.09.11:第228回「まち@ラヂ」放送

2019.09.11: JR 松山駅まちづくり土地利用勉強会

2019.09.14: もぶるラウンジ休日企画レゴ(R)プール

2019.09.15: 通行量調査(みんなのひろば前面道路・休日)

2019.09.15: レゴ(R)プール in お城下マルシェ花園

2019.09.16: もぶるラウンジ休日企画レゴ(R)プール

2019.09.18: 第229回「まち@ラヂ」放送

2019.09.19: 通行量調査(みんなのひろば前面道路・平日)

2019.09.19-10.31: もぶるラウンジ企画展「子規と花園町」

2019.09.21: もぶるラウンジ休日企画レゴ(R)プール

2019.09.22: もぶるラウンジ休日企画レゴ(R)プール

2019.09.25:第230回「まち@ラヂ」放送

2019.09.26: 市駅前商店街勉強会

2019.09.27: 既成市街地 UDC 研究会

2019.09.28: もぶるラウンジ休日企画レゴ(R)プール

2019.09.29: もぶるラウンジ休日企画レゴ(R)プール

2019.10.01: 通行量調査(花園町通り西側、東側・平日)

2019.10.01:アーバンデザイン研究会 Vol.14 「コミュニケーション・デザイン」(まち楽房 加藤武志氏)

2019.10.02: 第231回「まち@ラヂ」放送

2019.10.02: アーバンデザインスクール実践編#7

2019.10.05: 通行量調査(花園町通り西側、東側・休日)

2019.10.05: もぶるラウンジ休日企画レゴ(R)プール

2019.10.06: アクティビティ調査・イベント時調査(花園町通り)

2019.10.06: もぶるラウンジ休日企画レゴ(R)プール

2019.10.09:第232回「まち@ラヂ」放送

2019.10.12:アクティビティ調査・中期調査(花園町通り、市駅前・休日)

- 2019.10.13: アクティビティ調査・イベント時調査(花園町通り)
- 2019.10.13: もぶるラウンジ休日企画レゴ(R)プール
- 2019.10.14: もぶるラウンジ休日企画レゴ(R)プール
- 2019.10.15:アクティビティ調査・中期調査(花園町通り、市駅前・平日)
- 2019.10.16:第233回「まち@ラヂ」放送
- 2019.10.16: 視察(株式会社パスコ・今治市役所、5名)
- 2019.10.18: 第14回松山市都市再生協議会
- 2019.10.18: 松山駅まち会議
- 2019.10.19: もぶるラウンジ休日企画レゴ(R)プール
- 2019.10.19-2020.01.09:カフェテラス社会実験「花園テラス」
- 2019.10.20: おばけ探しスタンプラリー in お城下マルシェ花園
- 2019.10.21-11.29: アクティビティ調査・プログラム時調査(花園町通り)
- 2019.10.22: もぶるラウンジ休日企画レゴ(R)プール
- 2019.10.23:第234回「まち@ラヂ」放送
- 2019.10.26:イベント参加者アンケート調査(ストリートイベント)
- 2019.10.26: ストリートイベント in 花園町通り「道 de 音を楽しもう」
- 2019.10.26-27: アーバンデザインスクール、GET!にて再開発後の活用イメージ演出
- 2019.10.26-27: アーバンデザインスクール、JR 松山駅前広場で足湯実施
- 2019.10.27: アクティビティ調査・イベント時調査(花園町通り)
- 2019.10.27: もぶるラウンジ休日企画レゴ(R)プール
- 2019.10.30: 第235回「まち@ラヂ」放送
- 2019.10.30: 市駅前商店街勉強会
- 2019.11.01: JR 松山駅まちづくり土地利用勉強会中間報告会
- 2019.11.01-11.02: 第二回まつやま文具マルシェ
- 2019.11.01-11.30: もぶるラウンジ企画展「メデョムハイク」in もぶるラウンジ
- 2019.11.03: アクティビティ調査・イベント時調査(花園町通り)
- 2019.11.05: アーバンデザインスクール実践編#8
- 2019.11.05-06: 視察(横浜市立大学 影山ゼミ、1名)
- 2019.11.06:第236回「まち@ラヂ」放送
- 2019.11.06: 視察(小田急電鉄株式会社、6名)
- 2019.11.08: 視察(さいたま市・イクレイ、4名)
- 2019.11.09-11.22: 花園町来街者アンケート調査
- 2019.11.12-11.29: もぶるテラス・みんなのひろば利用者アンケート調査(追跡)
- 2019.11.13:第237回「まち@ラヂ」放送
- 2019.11.13: 視察(仙台市議会、16名)
- 2019.11.14: 視察 (焼津市自治会連合会、35名)
- 2019.11.16: 視察(青森市高度化事業団体連絡協議会、6名)
- 2019.11.17: ちぎろう!はろう!えがこう! in お城下マルシェ花園
- 2019.11.18: 視察(渋谷区、3名)
- 2019.11.18-12.20:周辺店舗アンケート調査(もぶるテラス・みんなのひろば)
- 2019.11.19: アクティビティ調査・中期調査(花園町通り、市駅前・平日)
- 2019.11.19: まちなかマガジンもぶる 編集ワークショップ
- 2019.11.20:第238回「まち@ラヂ」放送
- 2019.11.20: もぶるラウンジ屋外部分デザインワークショップ
- 2019.11.21: まちなかプラネタリウムカフェ(星空散歩) in もぶるラウンジ

2019.11.23:アクティビティ調査・中期調査(花園町通り、市駅前・休日)

2019.11.23: : アーバンデザインスクール、伊予絣と砥部焼のコラボ商品開発

2019.11.25: 市駅前商店街勉強会

2019.11.27: 第239回「まち@ラヂ」放送

2019.11.27: 視察(豊橋発展会、11名)

2019.12.03: まちなかマガジンもぶる 編集ワークショップ

2019.12.03: アーバンデザイン研究会 Vol.15 「まちなか広場のつかい方・つくり方」(山下裕子氏)

2019.12.04: 第240回「まち@ラヂ」放送

2019.12.08: アーバンデザインスクール、城山公園にて映画鑑賞イベントの実施

2019.12.08: JR 松山駅まちづくり土地利用勉強会主催イベント「よいまち」開催

2019.12.11:第241回「まち@ラヂ」放送

2019.12.14: アーバンデザインスクール活動発表会

2019.12.15: せかいに1つだけのクリスマスツリー in お城下マルシェ花園

2019.12.17: 市駅前商店街勉強会

2019.12.17: JR 松山駅まちづくり土地利用勉強会

2019.12.18:第242回「まち@ラヂ」放送

2019.12.25:第243回「まち@ラヂ」放送

2019.12.26: まちなかマガジンもぶる 編集ワークショップ

2019.12.27-2020.01.31: もぶるラウンジ企画展「メデョムハイク」in 松山市立子規記念博物館

2020.01.01: 第244回「まち@ラヂ」放送

2020.01.08: 第245回「まち@ラヂ」放送

2020.01.14: 国土交通省スマートシティ先行モデル事業 (海外展開追加予算) 採択

2020.01.15: 第246回「まち@ラヂ」放送

2020.01.16: 通行量調査(みんなのひろば前面道路・平日)

2020.01.17: アーバンデザインスタジオ Vol.2 中間講評会

2020.01.17: JR 松山駅前広場基本設計プロポーザル選考委員会(委員参画)

2020.01.17-02.16:カフェテラス社会実験「花園テラス」

2020.01.18: おしゃフェス in もぶるラウンジ

2020.01.19: 通行量調査(みんなのひろば前面道路・休日)

2020.01.19: こたつ in お城下マルシェ花園

2020.01.19-2020.03.31: もぶるラウンジ活動写真スライドショー上映(2019/1-2019/12 活動分)

2020.01.20: 視察(東日本旅客鉄道株式会社、4名)

2020.01.21: まちなかマガジンもぶる 編集ワークショップ

2020.01.22: 第247回「まち@ラヂ」放送

2020.01.22: 市駅前商店街勉強会

2020.01.25:イベント参加者アンケート調査(ストリートイベント)

2020.01.25: ストリートイベント in 花園町通り「道 de オリンピック」

2020.01.29: 第248回「まち@ラヂ」放送

2020.01.29:スマートシティ都市マネジメント分科会第一回開催@国土交通省(国土交通省と共催)

2020.01.30: 視察(武蔵野市役所、6名)

2020.01.31: JR 松山駅まちづくり土地利用勉強会

2020.02: アーバンデザインスクール、三津浜にてファッション誌の制作を実施

2020.02.01:通行量調査(花園町通り西側、東側・休日)

2020.02.03: アーバンデザイン研究会 Vol.16

「商業集積地の将来都市空間」(ハートビートプラン泉英明氏)

2020.02.04: 通行量調査(花園町通り西側、東側・平日)

2020.02.05: 第249回「まち@ラヂ」放送 2020.02.12: 第250回「まち@ラヂ」放送

2020.02.12: 市駅前商店街勉強会

2020.02.13-02.28: 花園町周辺店舗アンケート調査

2020.02.16: こたつ・クロヌリハイク in お城下マルシェ花園

2020.02.16: スマートシティ意見交換会(松山スマートシティ推進コンソーシアム主催) 2020.02.17-03.31: クロヌリハイク作品展示(2月17日お城下マルシェ花園での成果分)

2020.02.18: 視察 (エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社、2名)

2020.02.19:第251回「まち@ラヂ」放送

2020.02.19: まちなかマガジンもぶる 編集ワークショップ

2020.02.23: アーバンデザインスタジオ Vol.2 最終講評会

2020.02.26:第252回「まち@ラヂ」放送

2020.03.04:第253回「まち@ラヂ」放送

2020.03.06: 第15回松山市都市再生協議会

2020.03.11:第254回「まち@ラヂ」放送

2020.03.18: 第255回「まち@ラヂ」放送

2020.03.18: 市駅前商店街勉強会

2020.03.19: 国土交通省スマートシティ先行モデル事業報告書提出

2020.03.25:第256回「まち@ラヂ」放送

2. 6 四国防災八十八話研究会

愛媛大学防災情報研究センターは、愛南町及び愛南町教育委員会と連携して、四国防災八十八話感想 想文コンクール表彰式及び作品発表会を、令和2年3月3日に愛南町総合庁舎で開催しました。

厳正な審査の上、小学校の部では最優秀賞 1 編、優秀賞 2 編の 3 編が、中学校の部では最優秀賞 1 編、優秀賞 2 編の 3 編が表彰されました。受賞した児童生徒は、それぞれの作文を、保護者などの多くの参加者を前に堂々と発表しました。この子供たちが地域の将来を担う人材となり、地域防災の柱になってくれる日も近いことと期待されます。

令和元年度の入賞者は下記のとおりです。

最優秀賞	小学校の部	愛南町立福浦小学校	6年	田原	由惺
	中学校の部	愛南町立一本松中学校	1年	赤松	羽望
優秀賞	小学校の部	愛南町立久良小学校	6年	本多	駿翔
		愛南町立一本松小学校	5年	福島	昊虎
	中学校の部	愛南町立内海中学校	1年	伊勢	雅姫
		愛南町立篠山中学校	1年	植松	奏多

入賞作品は、(http://cdmir.jp/download/) にアップしています。

2.7 防災情報研究センターニュース(メールマガジン)

本年度は、27件のメルマガ配信を行いました。3月末時点の登録者数は、1,091名です。 メールマガジン配信希望の方は、センターHPからお申し込みください。また、バックナンバーもセンターHPで公開しています。

防災情報研究センター ホームページ http://cdmir.jp/

発行日	号	タイトル
2019.4.8	489	<お知らせ>防災情報研究センターの教員の異動・昇進について
2019.4.10	490	<ご報告>平成30年7月豪雨愛媛大学災害調査団報告書をHPにアップしました
2019.4.11	491	<ご案内>令和元年を寿ぐ国際防災フォーラム「松山市の防災教育モデルのネパールへの展開を考える」の 開催について
2019.4.17	492	<ご案内>公開講座「防災士養成講座」の受講者募集について
2019.4.26	493	<お知らせ>防災情報研究センターの教職員の異動について
2019.5.7	494	<ご案内>【松山市防災教育推進協議会設立共同発表及び特別講演会】及び平成30年度防災情報研究センター活動報告会】の開催について
2019.5.16	495	<ご案内>愛媛MEの会 平成30年度ME活動報告会を開催します
2019.5.27	496	<ご案内>令和元年度社会基盤メンテナンスエキスパート(ME)養成講座の受講生募集について
2019.6.7	497	<開催報告>【松山市防災教育推進協議会設立共同発表及び特別講演会】【平成30年度防災情報研究センター活動報告会】を開催しました
2019.6.28	498	<ご案内>松山市防災教育推進協議会&防災リーダークラブ令和元年度第1回防災講演会の開催について
2019.7.26	499	<ご案内>令和元年度第1回インフラ整備に関わる先端学術技術講演会の開催について
2019.7.31	500	<ご案内>「えひめ建設BCP研究会」参加企業の募集について
2019.8.28	501	<開催報告>令和元年度第1回インフラ整備に関わる先端学術技術講演会を開催しました
2019.8.30	502	<ご案内>松山市防災教育推進協議会&防災リーダークラブ令和元年度第2回防災講演会の開催について
2019.9.17	503	<ご案内>令和元年度 愛媛大学防災情報研究センター講演会「西日本豪雨災害時の交通管制と交通マネジメント」の開催について
2019.10.28	504	<ご案内>令和元年台風19号にかかる災害調査報告会の開催について
2019.11.18	505	<ご案内>松山市防災教育推進協議会&学生防災リーダークラブ令和元年度第3回防災講演会の開催について
2019.11.21	506	<ご案内>令和元年台風19号にかかる災害調査報告会の開催について
2019.11.22	507	<ご案内>令和元年度 避難所運営ワークショップ「さすけなぶる」研修会の開催について
2019.12.16	508	<ご案内>「i-Constructionシンポジウム」の開催について
2020.1.15	509	<ご案内>松山防災リーダー育成センター報告会松山全世代型防災教育-家族の絆と地域の絆を深める- 開催について
2020.1.16	510	<ご案内>防災シンポジウム「国土強靱化地域計画の策定と事前復興デザイン」開催について
2020.1.28	511	<ご案内>「地域主導による地球温暖化対策フォーラム」開催について
2020.2.7	512	<ご案内>令和元年度事前復興フォーラムを開催します(3月7日(土))
2020.2.27	513	<お知らせ>令和元年度事前復興フォーラム(3月7日(土))開催中止のお知らせ
2020.3.11	514	<ご案内>「えひめ建設BCP研究会」参加企業の募集について
2020.3.30	515	<ご案内>森伸一郎先生と小野耕平先生の論文が日本の地盤工学会のジャーナルSoils and Foundations誌(2018年Impact Factor1.673)に掲載されました

3. センターが受け入れた研究活動

3.1 受託研究

(1) 交通事故リスクマネジメント手法の研究開発

(契約先:国土技術政策総合研究所,研究者:吉井,契約金額:22,088,000円) 内容:道路ネットワークの有効活用による安全性向上を目的とし,道路通行時における事故の起こしやすさを定量的に評価・算定する方法を確立した上で,交通事故リスク情報を活用し安全な交通流状態を保つための交通需要マネジメントの方法を提案・実施して,その有効を示す。

(2) 宇和島市吉田町玉津地区 地区防災計画策定

(契約先:玉津地区自主防災会,研究者:森脇,契約金額:2,310,000円) 内容:宇和島市モデル地区として玉津地区における地区防災計画の策定を支援するととも

に、他地区における策定の取組みを推進する際に活用可能な手引きの作成に寄与する。

(3) 高度降雨観測機器データの防災・流域保全への利活用に向けた基礎研究 (契約先:株式会社ベクトル総研,研究者:森脇,契約金額:1,000,000円) 内容:近年頻発する極端気象による水災害や逼迫する水需要に対処するため,各種観測機器による降雨データの取得・解析・評価方法について検討する。

(4) 竹富島歴史的景観形成地区保存計画書の見直しに関する調査委託業務(再委託)

(契約先:北海道大学,研究者:四戸,契約金額:500,000円)

内容:北海道大学が竹富島と受託研究契約した『竹富島歴史的景観形成地区保存計画見直 しの関する調査』の一部について担当する。

3.2 受託事業

(1) 松山市中心市街地賑わい再生社会実験業務委託

(契約先:松山市,研究者:柳原,契約金額:14,597,000円)

内容:中心市街地に整備したまちなか交流施設等にて,地元商店街等と連携をしながら, 公共空間の活用やまちづくりの担い手育成に取り組み,中心市街地の賑わいを再生する効 果的な仕組みを検証する。

3.3 共同研究

(1) 南海トラフ地震事前復興共同研究

(契約先:愛媛県・宇和島市・八幡浜市・西予市・伊方町・愛南町、

研究者:森脇,契約金額:45,000,000円)

内容:災害リスク情報プラットフォームの構築,行政職員向けの事前復興に向けた図上訓練,住民向けの事前復興センサスと模擬避難訓練の実施,避難マニュアルの作成,事前復

興計画策定指針の作成及び防災フォーラムの開催その他宇和海沿岸地域における南海トラフ地震被害からの事前復興のために必要な研究を行う。

(2) 交通交流論とAI学習による非日常の発見とアラート発信

(契約先:東北大学,研究者:吉井,契約金額:2.997,547円)

内容:移動体データ(プローブ,ドラレコ等)と気象,地形データを交通流理論と AI 学習により融合分析して①災害時の道路損傷,冠水,積雪,Gridlock などの非日常,および観光地やイベント時の渋滞等の非日常をリアルタイムに発見する方法,②非日常(通行障害や土砂災害)の発生を事前アラートする手法を開発することを目的とする。

(3) 対流型地域圏における自動走行システム普及に向けた新たな道路ストック評価手法 (契約先:東京大学,研究者:片岡,契約金額:1,999,800円)

内容:中山間地域など担い手不足の懸念される地域の人流・物流ネットワークへの自動走行システムの導入・普及を目指し、道の駅を拠点とする自動走行サービスを想定した実証実験や調査を通じて、自動運転に対応した道路インフラと道の駅が有すべき機能を明確化し、自動走行対応型道路ネットワーク整備計画を立案するとともに、実証実験や調査により得られたデータに基づき自動走行サービスの導入評価・運営支援を行う手法を開発し、これらのデータ及び評価手法を政策評価・交通計画策定者や運行マネジメント実施者、研究開発者と共有し活用してもらうことで自動走行サービス導入・普及を支援するプラットフォームを開発する。

(4) 対象流域における下水道関連情報を用いた深層学習に関する研究

(契約先:国土交通省,研究者:森脇,契約金額:1,827,280円)

内容:流域全体における降雨イベントや人間活動から,汚濁発生負荷の変動を予測するとと もに,それに応じた生物処理システムの運転管理方法について調査し,処理効率や処理にか かるエネルギーや資源の削減可能性について考察・検討し,適切な運転方法を提示する。

(5) 令和元年度 交通事故発生リスク算定へのAI技術活用に関する研究

(契約先:株式会社高速道路総合技術研究所,研究者:吉井,契約金額:2,420,000円) 内容:近未来の事故発生の危険性を,過去・現在の交通状況の推移とAI技術を活用して 予測に関する検討を行う。

3.4 寄附金

(1) アーバンデザイン研究部門

(契約先:松山市都市再生協議会,金額:30,000,000円)

設置期間:平成31年4月1日~令和2年3月31日

(2) 防災・橋梁メンテナンス技術研究部門

(契約先:第一コンサルタンツ,金額:17,000,000円)

設置期間:平成31年4月1日~令和2年3月31日

(3) インフラ空間情報基盤研究部門

(契約先:株式会社カナン・ジオリサーチ,金額:10,000,000円)

設置期間:平成31年4月1日~令和2年3月31日

(4) 松山全世代型防災教育推進講座

(契約先:松山市防災教育推進協議会,金額:8,000,000円)

設置期間:令和元年10月1日~令和2年3月31日

(5) 海洋レーダ情報高度化研究部門

(契約先:国際航業株式会社,金額:5,000,000円)

設置期間:令和元年11月1日~令和3年10月31日

(6) その他

愛媛県建設技術支援センター, 株式会社ニップロ

4. センター教員による研究・地域貢献活動

【森脇 亮】

- 1. 2019.5.9 「近年の豪雨災害と南海トラフ地震への備え」,四国西南サミット,大洲市
- 2. 2019.5.31 「平成 30 年 7 月豪雨災害の特徴と課題」, 防災情報研究センター活動報告会, 愛媛大学
- 3. 2019.6.13 「行政・住民が連携した実践的な防災力向上の必要性~平成 30 年 7 月豪雨災害の 教訓~」、愛媛県町村会 町(市)職員研修会、松山市
- 4. 2019.7.20 「環境建設工学科と防災情報研究センターの最近の動向」, 土木海洋会関東支部総会講演, 愛媛大学サテライトオフィス東京
- 5. 2019.7.20 「行政・住民が連携した実践的な防災力向上の必要性~平成 30 年 7 月豪雨災害の 教訓~」, 伊方町消防団 講演会, 愛媛大学
- 6. 2019.8.29 「平成 30 年 7 月豪雨災害の教訓」,全国消防長会四国支部 消防長研修会,ホテルメルパルク松山
- 7. 2019.8.31 「西条の水と防災〜平成 30 年 7 月豪雨災害の教訓〜」, 西条の水を守る会 講演, 西条市
- 8. 2019.9.14 「愛媛県南予地域における事前復興デザイン研究」, 日本技術士会四国本部防災委員会防災講演,八幡浜市
- 9. 2019.10.1 「南海トラフ巨大地震への備えと西日本豪雨を振り返って」, 余土地区 防災研修会, 松山市
- 10. 2019.10.4 「多発する自然災害から学ぶべきこと~防災教育の重要性~」, 南予管内社会教育 行政担当研修会, 宇和島市
- 11. 2019.10.14 「私と南予地域とのかかわり~平成30年7月豪雨における鬼北町での災害調査~」, 愛媛大学地域協働センター南予開設記念行事 リレー講演,西予市
- 12. 2019.10.21 「平成 30 年 7 月豪雨で起きていたこと」~多発する自然災害と今後の備え~、宇和島東高校講演会、宇和島市
- 13. 2019.10.30 台風 19 号の特徴と被害の概要, 令和元年台風 19 号にかかる災害調査報告会, 愛媛大学
- 14. 2019.11.12 多発する自然災害~必要な対応とそのための備え,愛媛県社会福祉事業団研修, 松山市
- 15. 2019.11.15 地区防災計画,事前復興計画の重要性,西予市自主防災組織連絡会,西予市
- 16. 2019.11.17 多発する自然災害に備える~タイムラインについて~, 松山市消防分科会(東消防署), 松山市
- 17. 2019.12.14 多発する自然災害に備える~タイムラインについて~, 松山市消防分科会(南消防署), 松山市
- 18. 2019.12.15 多発する自然災害に備える~タイムラインについて~, 松山市消防分科会(中央消防署), 松山市

- 19. 2020.1.18 令和元年台風 19 号の被害から考える松山市の防災対策,松山市自主防災組織ネットワーク会議 令和元年度 防災講習会,松山市総合コミュニティセンター
- 20. 2020.1.20 南海トラフ地震に備える「まちづくり」~愛媛県南予地域における事前復興デザイン研究~,愛媛県県人会まちづくり部会講演,東京
- 21. 2020.2.2 南海トラフ地震に備える~事前復興の取り組み~, 愛媛大学土木海洋会関東支部 新春講演会,東京工業大学キャンパスイノベーションセンター
- 22. 2020.2.8 多発する自然災害に備える~マイタイムラインを作ろう~, 松山市消防分科会(西消防署), 松山市
- 23. 2020.2.8 愛媛県南予地域における事前復興デザイン研究,美波町自主防視察研修会,宇和島市 玉津公民館
- 24. 2020.2.9 災害時に備える公民館と地域との役割について、宇和島市公民館研究大会、宇和島市
- 25. 2020.2.21 南海トラフ地震事前復興共同研究の取り組み,防災シンポジウム「国土強靭化地域 計画の策定と事前復興デザイン」,愛媛大学
- 26. 2020.2.26 災害に備えるために地域で出来ること、砥部町防災教育推進連絡会議、砥部町
- 27. 2020.2.26 多発する自然災害から学ぶべきこと〜地域の防災力を向上させよう〜, 内子町大瀬 自治センター地域づくり研究大会, 内子町
- 28. 重信川流域学識者会議委員
- 29. 肱川流域学識者会議委員
- 30. ダム管理フォローアップ委員会:委員(国土交通省四国地方整備局)
- 31. 堤防決壊に係る調査委員会:委員(国土交通省四国地方整備局)
- 32. 四国の港湾における地震・津波対策検討会議委員(国土交通省四国地方整備局)
- 33. 四国広域緊急時海上輸送等検討ワーキンググループ委員(国土交通省四国地方整備局)
- 34. 山鳥坂ダム・鹿野川ダム環境検討委員会委員
- 35. 山鳥坂ダム工事事務所ダム事業費等監理委員会委員
- 36. リバーカウンセラー (国土交通省四国地方整備局)
- 37. 河川・渓流環境アドバイザー (国土交通省四国地方整備局)
- 38. 四国地方整備局総合評価委員会:委員(国土交通省四国地方整備局)
- 39. 四国地方整備局総合評価地域小委員会:委員(国土交通省四国地方整備局)
- 40. 愛媛県防災会議委員
- 41. 愛媛県学校防災アドバイザー
- 42. 愛媛県建設工事総合評価審査委員(愛媛県)
- 43. 愛媛県廃棄物処理施設設置審査委員会委員
- 44. 松山市環境審議会委員(松山市)
- 45. 松山市総合評価審査員(松山市)
- 46. 松山市公営企業局総合評価審査員(松山市)
- 47. 八幡浜市港湾審議会委員
- 48. 愛南町防災教育連携協力協議会委員
- 49. 愛南町防災教育推進懇談会委員

- 1. 藤森 祥文, 今村 実, 全 邦釘, 西村 文武, 森脇 亮:AMeDAS 観測データを用いた深層学習による 降水量予測の試み:土木学会:水工学論文集:64(2):I_1189~I_1194:2019
- 2. 越智晴香,原田辰也,岡田将治,藤森祥文,森脇亮:平成 30 年 7 月豪雨を対象とした肱川における洪水 氾濫シミュレーション:令和元年度土木学会四国支部第 25 回技術研究発表:高知工科大 学:2019.06.01
- 3. 藤森祥文,原田辰也,矢野凌佑,岡田将治,森脇亮:平成30年7月豪雨における愛媛県内の二級河川の被害状況および氾濫解析:令和元年度土木学会四国支部第25回技術研究発表:高知工科大学:2019.06.01
- 4. 森脇亮,浅岡佑亮,藤森祥文:データ同化手法を用いた降水シミュレーションの精度向上に関する研究: 令和元年度土木学会四国支部第25回技術研究発表:高知工科大学:2019.06.01
- 5. 伊藤寛幸,今村実,全邦釘,藤森祥文,西村武文,森脇亮:深層学習を用いた降水量予測の試み:令和元年度土木学会四国支部第25回技術研究発表:高知工科大学:2019.06.01
- 6. 田中淳也,井上咲,貝原愛,藤森祥文,森脇亮:避難行動分析に基づく避難シミュレーションの開発〜宇和島市の合同津波避難訓練を対象として〜:令和元年度土木学会四国支部第25回技術研究発表:高知工科大学:2019.06.01

【吉井 稔雄】

- Effect of a Safety Route Guidance System on Network Traffic Safety, Seminar on Advanced Traffic Management for Smart Mobility, University of Leeds, 2019.9.19
- 2. Effect of a Safety Route Guidance System on Network Traffic Safety, French-Japanese Seminar on Simulation of On-Ground Mobility in Critical Situations: Cognitive Models and Computerized Modeling, Université Paris Descartes, 2019.9.17
- 3. 事故リスクを用いた交通マネジメントについて,外部講師勉強会,(株)オリエンタルコンサル タンツ本社,2019.8.19
- 4. 愛媛県 愛媛県公共事業評価委員会 委員
- 5. 愛媛県 愛媛県開発審査会 委員
- 6. 愛媛県 愛媛県土地利用審査会 委員
- 7. 愛媛県 愛媛県都市計画審議会 委員
- 8. 松山市 松山市都市計画審議会 委員
- 9. 松山市 松山市環境審議会 委員
- 10. 松山市 松山市環境審議会専門部会 スマートシティ検討部会 会員
- 11. 松山市 松山市コンパクトシティ推進協議会 委員,立地適正化・交通ネットワーク検討部会 会員
- 12. 新居浜市 新居浜市都市計画マスタープラン策定委員会 委員
- 13. 国土交通省 四国地方整備局 松山河川国道事務所 愛媛県道路交通環境安全推進連絡会議 アドバイザー

- 14. 国土交通省 四国地方整備局 大洲河川国道事務所 愛媛県南予地域高速道路における沿道サービス案内に関する検討委員会 委員
- 15. 国土交通省 四国地方整備局 松山河川国道事務所 愛媛県渋滞対策協議会 議員
- 16. 東京大学生産技術研究所 リサーチフェロー
- 17. 高知工科大学 客員教授
- 18. 阪神高速道路株式会社 交通技術委員会幹事会 幹事
- 19. 中電技術コンサルタント株式会社 西日本貿易インフラの整備・運営を考える研究会 委員
- 20. 一般社団法人北海道道路管理技術センター 道路管理技術研究所 道路管理に関する意見交換 会 有識者
- 21. 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費委員会 専門委員
- 22. 特定非営利活動法人 ITS Japan「第 18 回 ITS シンポジウム 2020」 プログラム委員長
- 23. 公益社団法人土木学会四国支部 商議員
- 24. 一般社団法人交通工学研究会 交通事故リスクを活用した交通マネジメントに関する研究 委員長
- 25. 一般社団法人交通工学研究会 事業委員会 副委員長
- 26. 一般社団法人交通工学研究会 学術委員会 委員
- 27. 一般社団法人交通工学研究会 第2学術小委員会 副委員長

- 1. 垣田友希, 吉井稔雄, 神野裕昭, 福田尊元: 遅れ時間に基づく渋滞評価手法の提案ー愛媛県をケーススタディとしてー, 交通工学論文集, 第6巻2号, pp. B_61-B_69, 2020.
- 2. Fernando, C., Yoshii, T., Tsubota, T., and Shirayanagi, H. Analysis of the Safety Performance of Drainage Pavement focusing on Pavement Age. Eastern Asia Society for Transportation Studies, Vol.13, pp. 2016-2026, 2019.
- 坪田隆宏,吉井稔雄,白柳洋俊,小倉晃一:長時間連続運転車両が事故発生リスクに与える影響 分析,土木学会論文集 D3(土木計画学),74巻,5号,pp. I_1275-I_1282,2019
- 4. 坪田隆宏,吉井稔雄,倉内慎也,山本篤志:ETC2.0 データを活用した生活道路の交通事故リスク要因分析,土木学会論文集 D3(土木計画学),74巻,5号,pp. I_1029·I_1035,2019
- 5. 尾高慎二,吉井稔雄, 奥原瑠依,神戸信人:交通事故が CBD 街路網の MFD 形状に与える影響 の分析,第 60 回土木計画学研究発表会(土木計画学研究・講演集(CD-ROM), Vol.60),富山,2019年12月.
- 6. 坪田隆宏,吉井稔雄,白柳洋俊,倉内慎也:一般街路における舗装材質を考慮した事故リスク 分析,第60回土木計画学研究発表会(土木計画学研究・講演集(CD-ROM),Vol.60),富山, 2019年12月.
- 7. 倉内慎也, 西内裕晶, 吉井稔雄:自動車交通事故に対する恐怖感に着目した経路選択意識構造の分析, 第60回土木計画学研究発表会(土木計画学研究・講演集(CD-ROM), Vol.60), 富山, 2019年12月.
- 8. 吉井稔雄,坪田隆宏,倉内慎也, Xing Jian:情報の提示方法を考慮した事故リスク情報提供効

- 果分析,第 60 回土木計画学研究発表会(土木計画学研究・講演集(CD-ROM),Vol.60) ,富山,2019 年 12 月.
- 9. 甲斐慎一朗,大藤武彦,高橋浩司,吉井稔雄:交通流シミュレーションを用いた低事故リスク 経路誘導効果の分析,第 60 回土木計画学研究発表会(土木計画学研究・講演集 (CD-ROM),Vol.60),富山,2019年12月.
- 10. 森本祐治,吉井稔雄,坪田隆宏,全邦釘:深層学習による首都高速道路の事故発生予測モデル, 第 60 回土木計画学研究発表会(土木計画学研究・講演集(CD-ROM),Vol.60),富山,2019 年 12 月.
- 11. 坪田隆宏,吉井稔雄,倉内慎也,白柳洋俊:松山外環状線整備による交通事故減少便益の定量評価,第59回土木計画学研究発表会,(土木計画学研究・講演集(CD-ROM),Vol.59),名 古屋,2019年6月.
- 12. 橋本申,吉井稔雄,坪田隆宏,全邦釘:ディープラーニングを用いた高速道路の路面劣化予測 モデル,第 59 回土木計画学研究発表会,(土木計画学研究・講演集(CD-ROM),Vol.59), 名古屋,2019年6月.
- 13. 吉井稔雄, 坪田隆宏, Stephanie GITURU, 白柳洋俊: CBD 街路網を対象とした MFD の形状 分析, 第 59 回土木計画学研究発表会, (土木計画学研究・講演集(CD-ROM), Vol.59), 名 古屋, 2019 年 6 月.
- 14. Hirotoshi SHIRAYANAGI, Shinya KURAUCHI, Takahiro TSUBOTA and Toshio YOSHII: Effect of Attentional Disengagement on Driver Inattention While Driving on Expressway, The 13th International Conference of Eastern Asia Society for Transportation Studies, Colombo, Sri Lanka, September 9-12, 2019
- 15. Celso FERNANDO, Toshio YOSHII, Takahiro TSUBOTA, Hirotoshi SHIRAYANAGI: Analysis of the Safety Performance of Drainage Pavement focusing on Pavement Age, The 13th International Conference of Eastern Asia Society for Transportation Studies, Colombo, Sri Lanka, September 9-12, 2019
- 16. StephanieWanjiku GITURU, Toshio YOSHII, Takahiro TSUBOTA, Hirotoshi SHIRAYANAGI: A Study on the Characteristics of MFD determined by Probe Data, The 13th International Conference of Eastern Asia Society for Transportation Studies, Colombo, Sri Lanka, September 9-12, 2019

【松村 暢彦】

- 1. 四国地方整備局総合評価委員会委員
- 2. 四国運輸局地域公共交通確保維持改善事業第三者評価員会 委員
- 3. 交通関係環境保全優良事業者等大臣表彰選考委員会委員
- 4. 環境省中四国地方環境事務所 bikebiz の推進方策に関する意見交換会委員
- 5. 四国地方整備局総合評価委員会委員
- 6. 愛媛県地域交通活性化推進会議 会長

- 7. 愛媛県教育委員会学校防災アドバイザー
- 8. 愛媛県教育委員会通学路安全推進委員会委員
- 9. 愛媛県通学路安全推進委員会 委員長
- 10. 愛媛県地域公共交通網再編協議会委員
- 11. 松山市環境審議会専門部会スマートシティ検討部会員
- 12. 松山市産業用地適地調査業務委託選考委員会委員
- 13. 道後温泉活性化懇談会 委員
- 14. 西宮市都市交通会議委員
- 15. 愛媛県入札監視委員会委員
- 16. 大洲市立地適正化計画策定委員会会長
- 17. 大洲市復興推進協議会 会長
- 18. 大洲市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議 会長
- 19. 西予市復興まちづくり計画策定委員
- 20. 今治市地域公共交通活性化協議会 副会長
- 21. 今治市地方港湾審議会 会長
- 22. 今治市都市計画審議会会長
- 23. 伊予市都市計画審議会 委員
- 24. 東温市環境審議会 会長
- 25. 川西市次世代型移動サービス推進会議 委員
- 26. キセラ川西エコまち協議会委員
- 27. 川西市地域公共交通会議 委員
- 28. 大阪市地域公共交通活性化協議会委員
- 29. 箕面船場東地区スマートコミュニティ構想検討委員会委員
- 30. 災害科学研究所研究員
- 31. モビリティマネジメント教育普及検討委員会委員
- 32. エコ通勤認証・普及等委員会委員
- 33. 松山駅まち会議 委員
- 34. 一般利用者や学校等へのバリアフリーの啓発・普及検討意見交換会 委員
- 35. 2019 年 8 月 8 日: 2019 年度日本福祉のまちづくり学会学術賞:日本福祉のまちづくり学会

1. 平成 30 年 7 月豪雨における学生ボランティアの意識 松村暢彦, 渡邉敬逸, 羽鳥剛史 愛媛大学 社会共創学部紀要 3(1) 9 - 16 2019 年 4 月

【二神 透】

- 1. 令和元年6月21日:災害に備えて:株式会社愛亀・安全衛生大会:ウェルピア伊予:200名
- 2. 令和元年7月17日:巨大地震が起きた時,どう避難するか?:伊方町教育委員会・伊方生涯学

- 習センター5 階多目的ホール:70名
- 3. 令和元年 7月 30 日:かけがえのない命を守るための備えについて:愛媛県教育委員会 2019 年度幼稚園教育理解推進事業:県歴史文化博物館:100 名
- 4. 令和元年 7 月 31 日:かけがえのない命を守るための備えについて:愛媛県教育委員会 2019 年度幼稚園教育理解推進事業:新居浜市市民文化センター:100 名
- 5. 令和元年8月2日:かけがえのない命を守るための備えについて:愛媛県教育委員会2019年度 幼稚園教育理解推進事業:中予地方局:100名
- 6. 令和元年8月4日:地区防災計画策定コース:愛媛県消防学校・愛媛県消防学校松山市:40名
- 7. 令和元年8月11日:住民避難知策コース:愛媛県消防学校・愛媛県消防学校松山市:40名
- 8. 令和元年8月31日:地区防災計画策定コース:愛媛県消防学校・愛媛県東予地方局西条市:40名
- 9. 令和元年 9 月 9 日:地区防災計画作成に伴う協力: 久万高原町菅生中ノ下・大宝住宅自主防災会: 久万高原町大宝住宅集会所: 40 名
- 10. 令和元年 9 月 15 日:第 49 回愛媛県手をつなぐ育成会研修大会における講演及び助言:愛媛県 手をつなぐ育成会・愛媛県男女共同参画センター:50 名
- 11. 令和元年 9 月 21 日: 今治市防災士フォローアップ研修: 今治市総武部防災危機管理課・今治市総合福祉センター: 100 名
- 12. 令和元年 10月6日:地区防災計画作成に伴う協力: 久万高原町菅生中ノ下・大宝住宅自主防災会: 久万高原町大宝住宅集会所: 40名
- 13. 令和元年 10 月 9 日:地震・土砂災害対策:愛媛県消防学校:愛媛県消防学校第 52 回専科教育「警防科」の講師派遣:14 名
- 14. 令和元年 10 月 26 日:南海トラフ地震を想定した避難訓練・講演:広島市男女共同参画推進センター:広島市男女共同参画推進センター周辺及び 5 階研修室: 150 名
- 15. 令和元年 11 月 10 日:住民避難知策コース:愛媛県消防学校・愛媛県南予地方局宇和島市:40 名
- 16. 令和元年 11 月 11 日:地区防災計画作成に伴う協力: 久万高原町菅生中ノ下・大宝住宅自主防 災会: 久万高原町大宝住宅集会所: 40 名
- 17. 令和元年 11 月 20 日~28 日:上島町防災情報伝達システムの選考助言:上島町
- 18. 令和元年 11 月 23 日:「防災」における講演:国立大洲青少年交流の家教育事業:国立大洲青少年交流の家: 100 名
- 19. 令和元年 11 月 24 日: 久万高原町総合防災訓練における避難運営訓練への協力: 菅生中ノ下・大宝住宅自主防災会・B&G 久万海洋センター: 50 名
- 20. 令和元年 12 月:愛媛県・上島町で起こりうる災害の基礎知識: 弓削商船: アセンブリホール: 150 名
- 21. 令和 2 年 1 月 12 日:津波や地震の映像を含めた防災講話: 菅生中ノ下・大宝住宅自主防災会・中組集会所: 30 名
- 22. 令和 2 年 2 月 8 日:自主防災リーダーの役割と活動事例:愛媛県消防学校・県消防学校 2 階中 教室:40 名

- 23. 令和2年2月9日:防災士養成講座:愛媛県・宇和島市岩松公民館:50名
- 24. 令和 2 年 2 月 15 日:自主防災リーダーの役割と活動事例:愛媛県消防学校・県消防学校 2 階中 教室:40 名
- 25. 令和 2 年 2 月 22 日:自主防災リーダーの役割と活動事例:愛媛県消防学校・県消防学校 2 階中 教室:40 名
- 26. 令和2年2月22日:防災講話, HUGの説明・指導:西予市明浜中学校・学校体育館:94名
- 27. 上島町防災会議委員
- 28. 災害に強いまちづくり検討会委員:国土交通省四国地方整備局
- 29. 学校防災アドバイザー: 愛媛県教育委員会
- 30. 学校防災教育推進委員会委員:愛媛県
- 31. 愛媛県河川整備計画専門委員会委員
- 32. 学校防災教育実践モデル地域研究事業実践委員会委員:上島町・西予市
- 33. 松山市下水道事業経営審議会委員
- 34. 西予市防災会議委員
- 35. 愛媛県国土利用計画審議会委員

- 1. 二神透,中嶋友哉:一般学生ならびに防災活動参加意向者の防災意識分析,土木学会論文集 F6 (安全問題),安全問題・論文集,6頁,2019.
- 2. 西優汰, 二神透 : みどりを取り入れた防災まちづくりのための地震火災延焼シミュレータの開発と適用研究, 土木学会論文集 F6 (安全問題), 安全問題・論文集, 8 頁, 2019.
- 3. 中嶋友哉,二神透,片山裕斗:松山市高浜地区を事例とした西日本豪雨災害時の住民避難対応に関する研究,2019年度土木学会四国支部第25回技術研究発表会,2019年5月高知工科大学.
- 4. 西優汰, 二神透, 西山良太:地域愛着に着目した防災活動参加意向者の防災意識分析, 2019 年度土木学会四国支部第25回技術研究発表会, 2019 年5月高知工科大学.
- 5. 河野颯舞, 二神透, 谷勇輝: 津波・土砂災害を対象としたワークショップによる防災教育の評価, 2019 年度土木学会四国支部第25回技術研究発表会, 2019 年5月高知工科大学.

【氏家 勲】

- 1. 入札監視委員会委員:伊方町
- 2. 入札監視委員会委員: 宇和島市
- 3. コンクリート委員会常任委員: 土木学会
- 4. 全国鉄骨評価機構: 性能評価業務評価員
- 5. 総合評価審査員: 松山市
- 6. 日本コンクリート工学会四国支部: 幹事
- 7. 四国地方整備局総合評価委員会委員: 国土交通省
- 8. 建設工事総合評価審査委員: 愛媛県

- 9. 橋梁長寿命化修繕計画評価員: 愛媛県
- 10. 愛媛県生コンクリート品質管理監査会議: 議長: 愛媛県生コンクリート工業組合
- 11. 四国地方ダム等管理フォローアップ委員会: 委員: 国土交通省
- 12. ダム総合点検専門家: 国土交通省四国地方整備局
- 13. 建設審議会委員: 愛媛県
- 14. 四国地方整備局総合評価地域小委員会: 委員: 国土交通省

- 1. Prima Yne Puteri, UJIKE Isao, Keiyu Kawaai : Application of bio-based material for concrete repair : case study leakage on parallel concrete slab : MATEC Web of Conference : (258): 2019年
- 2. 氏家勲、河合慶有、山川莉希: コンクリートの品質評価のための表層透気試験の測定数について: 第 46 回セメント・コンクリート研究討論会論文報告集: Proceedings of the 46th JUCC Congress on Cement and Concrete
- 3. Saaya Sugitani, Keiyu Kawaai* and Isao Ujike:Effect of oxygen permeability on corrosion properties in mortar specimens mixed with bacillus subtilis: MATEC Web Conf.:Volume 289: 7th International Conference on Concrete Repair: 2019
- 4. K. Kawaai, T. Nishida, A. Saito, I. Ujike, S. Fujioka: Corrosion resistance of steel bars in mortar mixtures mixed with organic matter, microbial or other: Cement and Concrete Research: Vol. 124 10: 2019
- 5. N. Sandra, K. Kawaai, I. Ujike: Corrosion Current Density of Macrocell of Horizontal Steel Bars in Reinforced Concrete Column Specimen: International Journal of Geomate: Vol.16, Issue 54 pp.123 128: 2019
- 6. 河金甲、和氣佳純、氏家勲: フライアッシュ混和の高強度 P C 桁の蒸気養生方法に関する検討: 第 23 回プレストレストコンクリートの発展に関するシンポジウム論文集: 2019
- 7. 杉谷紗理、河合慶有、氏家勲:好気性微生物による貧酸素環境がセメント硬化対中の酸素透過 速度に与える影響:土木学会四国支部第25回技術研究発表会:高知工科大学:2019.05.31
- 8. 阿部光一郎、氏家勲、河合慶有:納豆菌の微生物代謝を利用した断面修復材の基礎的研究:土 木学会四国支部第 25 回技術研究発表会:高知工科大学: 2019.05.31
- 9. 山川莉希、氏家勲:コンクリート構造物の品質評価のための表層透気試験の測定数についての 検討:土木学会四国支部第25回技術研究発表会:高知工科大学:2019.05.31
- 10. 河合慶有、氏家勲: 柱供試体に埋設した水平鉄筋の腐食性状に与える酸素透過の影響: コンク リート工学年次大会 2019 (札幌): 2019.07.10
- 11. 山川莉希、氏家勲、河合慶有、大高下弘樹:鉄筋腐食ひび割れの進展期が各種非破壊試験の測 定値に及ぼす影響: コンクリート工学年次大会 2019: 札幌: 2019.07.10
- 12. 中野魁、氏家勲、河合慶有、河金甲:フライアッシュを混和したプレキャスト PC 製品のひび割れ抵抗性:土木学会全国大会第74回年次学術講演会:香川:2019.9

【日向 博文】

社会貢献活動:

- 1. 沿岸域における海洋プラスチックの動態とモデリング. 日本ベントス学会・日本プランクトン学会合同大会. 静岡. 2019 年 6 月. (招待講演)
- 沿岸域におけるマイクロプラスチックの堆積フラックス. 日本地球惑星科学連合 2019 年大会. 幕張. 2019 年 5 月. (招待講演)

論文・研究発表:

- Hinata, H., Sagawa, N., Kataoka, T., & Takeoka, H. (2020). Numerical modeling of the beach process of marine plastics: A probabilistic and diagnostic approach with a particle tracking method. Marine Pollution Bulletin, 152, 110910.
- 2. Isobe, A., Buenaventura, N. T., Chastain, S., Chavanich, S., Cózar, A., DeLorenzo, M., Hagmann, P., Hinata, H., Kozlovskii, N., Lusher, A., Marti, E., Michida, Y., Mu, J., Ohno, M., Potter, G., Ross., P.S., Sagawa, N., Shim, W.J., Song, Y.K., Takada, H., Tokai, T., Torii, T., Uchida, K., Vassillenko, K., Viyakarn, V., & Zhang. W. (2019). An interlaboratory comparison exercise for the determination of microplastics in standard sample bottles. Marine pollution bulletin, 146, 831-837.
- 3. 入江政安, 日下部包, 山西悟史, & 日向博文. (2019). HF レーダーによる観測津波流速のデータ 同化に関する基礎検討. 土木学会論文集 B2 (海岸工学), 75(2), I_1315-I_1320.
- 4. 尾方浩平, 小田切祐樹, 藤良太郎, & 日向博文. (2019). 短波海洋レーダによる津波検知性能の 季節変化. 土木学会論文集 B2 (海岸工学), 75(2), I 1309-I 1314.

【川瀬 久美子】

社会貢献活動:

- 1. 令和元年 11 月 10 日:愛媛のハザードマップを読む・学ぶ~日本地図学会公開ワークショップ・パネルディスカッション~ ワークショッフ①「愛媛のハザードマップを読む」愛媛の地形解説: 日本地図学会:松山市総合コミュニティーセンター:参加者 30 名
- 2. 令和 2 年 2 月 12 日: 今後の地理教育について①学習指導要領改訂②地理教育のエッセンス③防 災教育について: 新田高等学校社会科研修会: 新田高等学校: 参加者 15 名
- 3. 日本地理学会拡大災害対応委員会:委員:日本地理学会

【大橋 淳史】

- 2020年2月22日: 先生のための研究倫理入門セミナー : GIGA Ehime : GEG Matsuyama : 愛媛大学: 20名
- 2. 2020 年 2 月 12 日: テキストマイニングを用いた学習効果測定の実際: テキストマイニングカンファレンス 2020: プラスアルファ・コンサルティング社: 大阪: 100 名

- 3. 2019 年 12 月 14 日:中学生向け理科体験授業:おもしろ理科教室:松山市教育委員会:愛媛大学:40 名
- 4. **2019** 年 11 月 8 日:中学生向け理科体験授業: えひめ科学特別授業: 愛媛県教育委員会: 愛媛 大学: 7 名
- 5. 2019 年 11 月 3 日:高校生向けの研究倫理セミナー:愛媛大学グローバルサイエンスキャンパス:愛媛大学:愛媛大学:愛媛大学:40 名
- 6. 2019 年 10 月 19 日: 小学生向け理科体験授業: えひめ科学特別授業: 愛媛県教育委員会: 愛媛 大学: 60 名
- 7. 2019 年 9 月 29 日: 食品添加物の効果を探ろう: 生物多様性オープンキャンパス: 愛媛県: 愛媛大学: 10 名
- 8. 2019 年 9 月 21 日:物質の物理的性質と化学的性質:危険物取扱者準備講習会:消防試験研究 センター:新居浜市民センター:60 名
- 9. 2019 年 9 月 14 日:研究倫理体験教室:未来の先生展 2019:未来の先生展 2019 実行委員会: 明治大学: 20 名
- 10. 2019 年 8 月 9 日: 新人研修における研究倫理教育講座: 愛媛県農林水産研究所: 30 名 など

- 1. 大橋淳史, 隅田学:中学生の科学的能力を伸長させる科学者育成プログラムの開発 次世代科学者育成プログラムの評価 : 愛媛大学教育学部紀要:第66巻、79-89:2019年12月
- 2. 大橋淳史,後藤潤子:10代の進路選択におけるジェンダー比較 インターネット調査による要因比較- : 愛媛大学教育学部紀要:第66巻、31-39:2019年12月
- 3. 重川嘉希, 北川拓生, 奈須悠樹, 宮内晃平, 大橋淳史: 生活知と理論知の統合を促す理科体験授業の開発と実践: 愛媛大学教育実践総合センター紀要: 第37巻、11-19: 2019年7月
- 4. 山本浩司, 森脇亮, 藥師寺隆彦, 新宮圭一, 矢田部龍一, 大橋淳史: 宇和海沿岸地域の南海トラフ 地震事前復興のための教育プログラムの提案と施行: 令和元年自然災害フォーラム&21世紀の 南海地震と防災: 2019 年 12 月

【藤森 祥文】

社会貢献活動:

- 1. 2019.10.30: 「久慈川の氾濫と浸水被害」: 令和元年台風 19 号にかかる災害調査報告会: 愛媛大学防災情報研究センター: 愛媛大学南加記念ホール
- 2. 2019.12.03:「平成 30 年 7 月豪雨愛媛県内における中小河川の調査について」: 大学等との技術 開発懇談会: 国土交通省四国地方整備局:愛媛大学工学部大会議室

論文・研究発表:

1. 藤森祥文, 今村実, 全邦釘, 西村文武, 森脇亮: 「AMeDAS 観測データを用いた深層学習による降水量予測の試み」: 土木学会論文集 B1(水工学) Vol.75, No.2, I_1189·I_1194, 2019.08

- 2. 越智晴香,原田辰也,岡田将治,藤森祥文,森脇亮:「平成30年7月豪雨を対象とした肱川における洪水氾濫シミュレーション」:2019年度土木学会四国支部第25回技術研究発表会:高知工科大学:2019.06.01
- 3. 藤森祥文,原田辰也,矢野凌佑,岡田将治,森脇亮:「平成30年7月豪雨における愛媛県内の 二級河川の被害状況および氾濫解析」:2019年度土木学会四国支部第25回技術研究発表会:高 知工科大学:2019.06.01
- 4. 森脇亮,浅岡佑亮,藤森祥文:「データ同化手法を用いた降水シミュレーションの精度向上に関する研究」: 2019 年度土木学会四国支部第25回技術研究発表会:高知工科大学: 2019.06.01
- 5. 伊藤寛幸, 今村実, 全邦釘, 藤森祥文, 西村武文, 森脇亮:「深層学習を用いた降水量予測の試み」: 2019 年度土木学会四国支部第 25 回技術研究発表会:高知工科大学: 2019.06.01
- 6. 田中淳也,井上咲,貝原愛,藤森祥文,森脇亮:「避難行動分析に基づく避難シミュレーションの開発~宇和島市の合同津波避難訓練を対象として~」: 2019 年度土木学会四国支部第 25 回技術研究発表会:高知工科大学: 2019.06.01
- 7. 伊藤寛幸, 今村実, 全邦釘, 藤森祥文, 西村文武, 森脇亮:「深層学習を用いた 1~3 時間後の時間降雨量の予測」: 令和元年度土木学会全国大会 in 四国:香川大学: 2019.09.03
- 8. 田中淳也, 井上咲, 貝原愛, 藤森祥文, 森脇亮: 「宇和島市の合同津波避難訓練に基づく避難シミュレーション」: 令和元年度土木学会全国大会 in 四国: 香川大学: 2019.09.03

【榊原 正幸】

- 1. 2019.4.27: 茶摘みの会: 愛媛大学 社会共創学部: 東温市上林: 10 名
- 2. 2019.6.21:講演会(キャリア教育):愛媛県立新居浜西高等学校:280名
- 3. 2019.7.30:出張講義(学部紹介):愛媛大学社会共創学部:愛媛県立小松高等学校:6名
- 4. 2019.8.23:「社会共創学 -地域社会の未来を共に創る人材をめざそう!-」大学出張講義:愛媛県立川之石高等学校:30名
- 2019.10.24:理系研究室体験(講義):愛媛大学社会共創学部:愛媛県立松山南高等学校:2名
- 6. 2019.12.15:「付加体複合地域でのダムの建設と日本のトランスサイエンス問題」公開セミナー:ネットワーク市民の窓 愛媛県議会議員 武井多佳子:大洲市肱南公民館講義室:50名
- 7. 松山市環境審議会:松山市環境審議会委員:松山市環境部環境モデル都市推進課 (R1 年 11 月 末まで)
- 8. 松山市土壌汚染対策専門委員会: 松山市土壌汚染対策専門委員: 松山市環境部環境指導課 (H29 年 11 月~現在に至る)
- 9. 四国西予ジオミュージアム (仮称) 展示内容検討委員会:四国西予ジオミュージアム (仮称) 展示内容検討委員:西予市
- 10. 西予市ジオパーク拠点施設建設検討委員会:西予市ジオパーク拠点施設建設検討委員会委員:西予市
- 11. 西条市アカデミックアドバイザー委員会:西条市アカデミックアドバイザー:西条市 (H29 年 2月~現在に至る)

- 12. 総合地球環境学研究所 教授・SRIREP プロジェクトリーダー: 大学共同利用機関法人 人間 文化研究機構 総合地球環境学研究所 (H30 年 6 月 1 日~)
- 13. 学長特別補佐:国立大学法人 愛媛大学 (R1年10月末まで)
- 14. 国際連携推進機構副機構長:国立大学法人 愛媛大学 (R1年10末まで)
- 15. SUIJI 推進室長:国立大学法人 愛媛大学(R1年10末まで)
- 16. 防災情報研究センター教授:国立大学法人 愛媛大学
- 17. 地域協働センター西条教授:国立大学法人 愛媛大学
- 18. 将来構想検討ワーキンググループ委員:国立大学法人 愛媛大学 (R1年10末まで)
- 19. 教育研究評議会評議員:国立大学法人 愛媛大学 (R1年 10末まで)
- 20. 愛媛大学学生国際交流協力事業会理事:愛媛大学学生国際交流協力事業会(AINECS)

- 1. Basri, Sakakibara, M. and Sera, K. Mercury in Soil and Forage Plants from Artisansal and Small-Scare Gold Mining in the Bombana Area, Indonesia. Toxics2020,8,15, 2020 年 2 月.
- 2. Sakakibara, M., Tanaka, K., Kasamatsu, K., Shimagami, M. and Komatsu, S. Co-creation of sustainable regional innovation for reducing risk of high-impact enbironmental pollution, International Conference on Environmental Sustainability and Climate Change, 2019.4.22-4.23, Osaka.
- 3. Sakakibara, M., Medical Geology and its Challenges. 1st Japan-ASEAN Medical Seminar on Human Health Impact of Heavy Metals, 2019.5.3, Makassar, Indonesia.
- 4. Sakakibara, M., Medical Geology and its Challenges. 2nd Japan-ASEAN Medical Seminar on Human Health Impact of Heavy Metals, 2019.5.5, Gorontalo, Indonesia.
- Sakakibara, M., Establishment of multi-layered environmental governance in collaboration with private sectors, The 7th Joint seminar with Hokkaido University and RIHIN/The 28th RIHIN Regional Community Seminars, 2019.7.18, Hokkaido University, Sapporo.
- 6. 木村一成、池田倫治、大西耕造、榊原正幸、Febryanto Masulili 四国西部の中央構造線沿いで確認されたペペライト様岩の産状 日本地質学 & 第 126 年学術大会 (2019 山口大会),2019.9.23,山口市 (山口大学).
- 7. Sakakibara, M.,Bio-Eco-Geo-Medi-Socio(BEGMES)-science study of environmental pollution in artisdanal and small-scale gold mining area in Indoensia. 1st INTERNATIONAL CONFERENCE ON HEALTH SCIENCE IN DEVEROPING COUNTRY, 2019.11.15-11.17, Makassar, Indoensia.
- 8. Sakakibara, M.,Bio-Eco-Geo-Medi-Socio(BEGMES)-Science Study of Environmental Pollution in Artisdanal and Small-Scale Gold Mining Area in Indoensia. The 2nd ASEAN-Japan Meeting point of Collaboration by stakeholders and Researchers for Reducing Environmental Problems in ASEAN Coutries(TRPNEP2019), 2019.12.11, Nay Pyi Taw, Myanmar.
- 9. Hareteke Ishmael Kharema and Sakakibara, M. Petrography and mineral chemistry of

- kimberlites in Northern Lesotho. 第 19 回日本地質学会四国支部総会·講演会, 2019.12.14, 高松市(香川大学).
- 10. Basir and Sakakibara, M. Study on eco kinetics of heavy metal pollution at artisanal and small-scale gold mining in Gorontalo province, Indonesia. 第 19 回日本地質学会四国支部総会・講演会, 2019.12.14, 高松市(香川大学).

【岡村 未対】

- 1. 2019.5: 第4回河川堤防勉強会,阿南市,40名
- 2. 2019.11: 和元年台風 19 号および 10 月末豪雨災害に関する中間報告会〜地盤・土砂災害を中心 とした調査報告・被災分析〜、東京都、200 名
- 3. 2019.11: つなごう肱川教室,大洲市,60名
- 2020.1:河川維持管理技術講習会,高松市,150名
- 5. リバーカウンセラー(国土交通省四国地方整備局)
- 6. 松山空港地盤改良修補有識者委員会(沿岸技術研究センター)委員
- 7. The Asian Civil Engineering Coordinating Council, Executive Committee Meeting Member
- 8. The Asian Civil Engineering Coordinating Council, Chair of Planning Committee Meeting
- 9. 重信川流域学識者会議 委員(国交省松山河川国道事務所)
- 10. Soils and Foundations 編集委員会 副委員長(地盤工学会)
- 11. 土木技術者資格委員会上級土木技術者資格小委員会 主査(土木学会)
- 12. 土木技術者資格委員会特別上級土木技術者資格小委員会 主査(土木学会)
- 13. 肱川流域学識者会議 委員(国交省大洲河川国道事務所)
- 14. ATC3 Chairman, Geotechnology for Natural Disaster in Asia, ISSMGE 国際地盤工学会
- 15. スラウェシ地震復興プロジェクト: 国内支援委員会 委員 (JICA)
- 河川砂防技術基準検討委員会 委員(国土交通省 水管理・国土保全局)
- 17. 河川技術評価委員会 委員(国土交通省 水管理·国土保全局)
- 18. 地盤工学委員会 副委員長(土木学会)
- 19. 地盤工学会 副会長(地盤工学会)
- 20. 西日本高速道路株式会社四国支社 技術アドバイザー
- 21. International Expert Panel for Palu Liquefaction Research Center, UN Special Thematic Session on Water and Disasters, Member
- 22. 旧吉野川・今切川 河川堤防の耐震対策に関する技術検討会 委員(国交省徳島河川国道事務所)
- 23. 令和元年台風第 19 号の被災を踏まえた河川堤防に関する技術検討会,委員(国土交通省 水管理・国土保全局)
- 24. 河川堤防耐震高度化研究会 座長 (国土技術研究センター)
- 25. 令和元年台風 19 号災害調査団 団長(地盤工学会)

- 1. 小野耕平, Utari Sriwijaya Minaka, 岡村未対(2019): グラベルドレーンによる水圧消散効果に関する動的遠心模型実験, 地震工学会論文集, 19 巻, 6 号, pp.6_68-6_75.
- 2. 岡村未対,前田健一,西村柾哉,高辻理人,石原雅規,品川俊介,今村衛(2019):北川で繰返し 発生した陥没を伴う噴砂の詳細メカニズム調査,河川技術論文集,第25巻,pp.487-492.
- 3. 前田健一, 岡村未対, 石原雅規, 新清晃, 上野俊幸, 西村柾哉, 高辻理人, 品川俊介, 笹岡信吾(2019):北川で繰返し発生した噴砂による堤内・裏法尻箇所のゆるみ調査, 河川技術論文集, 第25巻, pp.535-540.
- 4. Nelson Fred and Mitsu Okamura (2019): Influence of strain histories on liquefaction resistance of sand, Soils and Foundations, Vol. 59, No. 5, pp.1481-1495. https://doi.org/10.1016/j.sandf.2019.06.011
- 5. M. Okamura, U.S. Minaka and K. Ono (2019): Effectiveness of vertical drains to prevent occurrence of liquefaction and settlement, Proc. 7th Int. Conf. on Earthquake Geotechnical Engineering, 477-490.
- 6. K. Ono and M. Okamura (2019): Centrifuge modeling on lateral force-displacement behavior of buried pipes in liquefied sand, Proc. 7th Int. Conf. on Earthquake Geotechnical Engineering, 4218-4225.
- 7. Netra P. Bhandary, Mitsu Okamura, and Youb R. Paudyal(2019): A study on shaking of tall buildings in Kathmandu Valley during the 2015 Nepal Earthquake, Proc. 16th Asian Regional Conference on Soil Mechanics and Geotechnical Engineering.
- 8. Tetsuo Tobita, Koji Ichii, Mitsu Okamura, Asri Nurani Sjafruddin, Jiro Takemura, Lyu Hang, Kyohei Ueda, Ryosuke Uzuoka, Ruben R. Vargas, Jad Boksmati, Alessandro Fusco, Samy Torres-Garcia, Stuart Haigh, Gopal Madabhushi, Majid Manzari, Sandra Escoffier, Zheng Li, Dong Soo Kim, Satish Manandhar, Wen-Yi Hung, Jun-Xue Huang, Truong-Nhat-Phuong Pham, Mourad Zeghal, Tarek Abdoun, Evangelia Korre, Bruce L. Kutter, Trevor J. Carey, Nicholas Stone, Yan-Guo Zhou, Kai Liu, and Qiang Ma (2019): LEAP-ASIA-2019: Validation of centrifuge experiments and generalized scaling law on liquefaction-induced lateral spreading, Proc. 16th Asian Regional Conference on Soil Mechanics and Geotechnical Engineering, CD-ROM.
- 9. K. Ono, M. Okamura, A, Maulana, A, Arysad and S, Nurdin (2020): Investigation of damage mechanism of large-scale landslide in Sibalaya, Palu due to the 2018 Sulawesi Earthquake, Proc. 17th World Conf. on Earthquake Engineering, Paper No. C003495.

【千代田 憲子】

- 1. 2020.2.5: 景観のイメージと色彩: 愛媛県景観形成推進会議研究会: 愛媛県: 八幡浜市役所大会議室: 約30名
- 2. 2019.6.13: 三方良しのパブリックデザイン: 四季録: 愛媛新聞社: 文化欄

- 3. 2019.6.20: 街の色とイメージ: 四季録: 愛媛新聞社: 文化欄
- 4. 2019.6.27:眺める場所と眺められる場所:四季録:愛媛新聞社:文化欄
- 5. 2019.7.4:シークエンスと日本庭園:四季録:愛媛新聞社:文化欄
- 6. 2019.7.11:屋外広告物と景観性:四季録:愛媛新聞社:文化欄
- 7. 2019.7.18: 準公共空間と景観への配慮: 四季録: 愛媛新聞社: 文化欄
- 8. 景観施策アドバイザー:国土交通省四国地方整備局
- 9. 松山外環状道路景観検討委員会:委員:国土交通省四国地方整備局 松山河川国道事務所
- 10. 愛媛県景観形成アドバイザー:愛媛県
- 11. 愛媛県屋外広告物審議会:委員:愛媛県
- 12. 松山アーバンデザインセンター非常勤スタッフ:プロジェクトアドバイザー:松山アーバンデザインセンター(UDCM)
- 13. 瀬戸大橋橋梁照明の在り方検討委員会:委員:本州四国連絡高速道路株式会社
- 14. 公益社団法人愛媛県建築士会建築甲子園委員会:委員:公益社団法人愛媛県建築士会
- 15. 愛媛県文化財保護審議会:副会長:愛媛県
- 16. JA 共済小・中学校交通安全ポスターコンクール愛媛県審査会:委員長: JA 共済連愛媛
- 17. 染色工芸 IIIb: 非常勤講師: 国立大学法人佐賀大学芸術地域デザイン学部
- 18. 2019.2:愛媛県政発足記念日知事表彰(教育文化部門):愛媛県

- 1. 千代田憲子: 伝統的工芸と生活デザインを結ぶデザイン教育について-2-伝統的工芸の今日的な 展開-: 愛媛大学教育学部紀要: 第 66 巻、141-151: 2019.12
- 2. 千代田憲子: 環 · VII: 創造の刻 造形芸術コースの歩み Part1: ミウラート・ヴィレッジ(三浦美術館)(松山):h180-w70-d65cm: 2020.2.23-3/4
- 3. 千代田憲子: 環- VIII: 創造の刻 造形芸術コースの歩み Part1: ミウラート・ヴィレッジ(三浦美術館)(松山): h100-w75-d75cm: 2020.2.23-3/4

【柳原 卓】

- 1. 道後温泉活性化懇談会 オブザーバー (松山市)
- 2. 道後温泉活性化懇談会(観光資源化関係) 委員(松山市)
- 3. 道後温泉活性化懇談会(交通関係) 委員(松山市)
- 4. 道後温泉周辺ファサード整備協定運営委員会 顧問(道後温泉誇れるまちづくり推進協議会)
- 5. 松山市下水道マンホール蓋デザイン審査会 審査員(松山市)
- 6. 河原デザイン・アート専門学校教育過程編成委員会 委員(河原デザイン・アート専門学校)
- 7. 2020 年 1 月 25 日: JIA ゴールデンキューブ賞 2019/2020 優秀賞 組織部門: 公益社団法人日本建築家協会(JIA)

【尾﨑 信】

社会貢献活動:

- 1. 2019.05.09:「松山における都市デザインのマネジメント」: 公共デザイン研究セミナー ~これ からの知的生産と公共調達のあり方を考える~ in 高松:土木学会:高松市・情報通信交流館 e-とぴあ・かがわ BB スクエア:30名
- 2. 2019.07.20:「まちを再発見する方法」: まちと文化とアートの学校: 松山ブンカ・ラボ: 松山市・愛媛大学: 30名
- 3. 2019.07.22:「アーバンデザイン研究部会の活動紹介」:愛媛大学社会連携推進機構研究協力会 特別講演会:愛媛大学社会連携推進機構:愛媛大学:100名
- 4. 2019.08.31:「道路空間の再生 ~松山市花園町通り~」: アーバニスト養成講座: UDC イニシアチブ: UDCK: 50名
- 5. 2019.11.17: 「景観を考える手がかり」: 松山城眺望景観ワークショップ: 松山市: ロープウェイ駅舎会議室: 30名
- 6. 道後温泉活性化懇談会:オブザーバー:松山市
- 7. 道後温泉活性化懇談会(観光資源化関係):委員:松山市
- 8. 道後温泉活性化懇談会(交通関係):委員:松山市
- 9. 道後温泉観光会館再整備検討委員会:協力委員:道後温泉旅館組合
- 10. 松山市景観審議会:委員:松山市
- 11. 松山市景観審議会作業部会:委員:松山市
- 12. 東温市市民提案活動支援制度審查委員会:審查委員:東温市
- 13. 東温市頑張る中山間地域等支援事業補助金審査委員会:委員:東温市
- 14. 掛川市都市計画審議会:会長:掛川市
- 15. 掛川市景観審議会:委員:掛川市
- 16. 長崎駅周辺エリアデザイン調整会議:委員:長崎県
- 17. 平泉町重要公共施設デザイン会議:委員:平泉町
- 18. 芝浦工業大学 土木工学科:非常勤講師:芝浦工業大学
- 19. 2020.01.25: ゴールデンキューブ賞優秀賞:日本建築家協会

【片岡 由香】

社会貢献活動:

- 1. 愛媛県 固定資産評価審議会 委員
- 2. 愛媛県 河川整備計画専門委員会 委員
- 3. 愛媛県 国土利用計画審議会 委員
- 4. 愛媛県 公共事業評価委員会 委員
- 5. 松山市 都市計画審議会 常任委員

論文・研究発表:

1. 大学生による災害ボランティア活動と自己効力感との関連

松村 暢彦, 楠 知暉, 片岡 由香

土木学会論文集 B1 (水工学) 75(1) 165 - 171 2019 年 10 月 査読有り

2. 離島地域を対象とした フィールドワーク実習の実践と課題 -八幡浜市大島地区を事例として-片岡 由香, 松村 暢彦

愛媛大学社会共創学部紀要 4(1) 1 - 5 2020 年 1 月 査読有り

【四戸 秀和】

社会貢献活動:

- 1. 2019.5.31:「UDCM の活動報告」: 松山市防災教育推進協議会設立共同発表及び記念講演会及 び平成 30 年度防災情報研究センター活動報告会: 愛媛大学防災情報研究センター: 愛媛大学南加記念ホール: 150 名
- 2. 松山市駅前広場周辺交通実態調査分析業務委託選考委員会 外部専門員
- 3. アーバンデザインスクール運営委員会 委員
- 4. 松山駅まち会議(作業部会) 委員
- 5. 道後温泉活性化懇談会 オブザーバー
- 6. 松山駅前広場等整備基本設計(交通計画等検討)業務委託選考委員会 委員

論文・研究発表:

- 1. 石井朋紀,四戸秀和,古谷純,石飛直彦:「松山市におけるスマートシティ実現に向けた取り組み」: アーバンインフラテクノロジー推進会議: HP 掲載 NoB04: 2019.11
- 2. 2019.11.30:「松山市におけるスマートシティに向けた取り組み」: 土木計画学会スペシャルセッション:土木計画学会:富山大学

【矢田部 龍一】

- 1. 5.10 松山市の防災教育モデルのネパールへの展開を考える:防災情報研究センター国際防災フォーラム、愛媛大学校友会館、50名
- 2. 5.31 防災情報研究センター活動の総括と展開戦略南、愛媛大学防災情報研究センター、愛媛大 学南加記念ホール、150名
- 3. 7.17 斜面防災に係わる最新の話題、地すべり防止工事士技術講習会、高松サンメッセホール、 50名
- 4. 8.5 大規模自然災害の時代と防災教育、全国教員夏季セミナー、オリンピック記念代々木青少年 総合センター、120名
- 5. 9.4 松山市における切れ目のない防災教育の展開、シティネット・横浜フォーラム、パシフィコ 横浜、50名
- 6. 10.3 自らの命は自らが守る、令和元年度今治市連合自治会協議会、今治市中央公民館、200名
- 7. 10.5 昨今の自然災害と防災エキスパートの役割、防災エキスパート研修会、マリンバレスさぬき、150名

- 8. 10.11 近年の斜面災害の特性と対策工について、ノンフレーム工法研究会特別講演会、アイテム えひめ、70名
- 9. 2.18 松山防災リーダー育成センターによる全世代型防災教育の展開、松山防災リーダー育成センター、愛媛大学社会連携推進機構研修室、20名
- 10.2.20 松山防災リーダー育成センターの設立趣旨と活動方針、松山防災リーダー育成センター、 愛媛大学社会連携推進機構研修室、20名
- 11.2.25 松山市における学校防災教育の展開、松山市教育委員会、松山市教育研修センター、90名
- 12. 四国ブロック南海地震研究委員会委員長:土木学会四国支部
- 13. 愛媛県環境審議会副会長:愛媛県
- 14. 伊方原子力発電所環境安全管理委員会委員:愛媛県
- 15. 愛媛県環境審議会土砂条例改正検討専門部会会長:愛媛県
- 16. 愛媛県環境影響評価審査会委員:愛媛県
- 17. 石手川ダム水源地域ビジョン推進連絡協議会会長
- 18. 西日本高速道路(株)四国支社入札監視委員会委員:NEXCO 四国支社
- 19. (財)防災研究協会非常勤研究員:防災研究所
- 20. 松山市都市再生協議会会長
- 21. 道路防災有識者:国土交通省四国地方整備局
- 22. 大洲城跡石垣保存修復委員会委員:大洲市
- 23. NPO 法人愛媛県建設技術支援センター理事
- 24. 一般社団法人四国クリエイト協会非常勤理事
- 25. 令和元年度松山自動車道地すべり検討会会長:NEXCO 四国支社
- 26. 四国支社管内のり面防災技術検討委員会委員長:NEXCO 四国支社
- 27. 四国支社管内のり面防災技術検討委員会四国支社アドバイザー会議委員:NEXCO 四国支社
- 28. 一般社団法人日本インフラ空間情報技術協会 理事長
- 29. NPO 法人日本環境土木工業会顧問
- 30. 12.15: 松山市制施行 130 周年市政功労者表彰:松山市

- 1. 中尾、山本、矢田部、芝、羽藤: 松山市における小学生から高齢者に至る全世代型防災教育の展開、21世紀の南海地震と防災、Vol. 14、pp. 95-98、2019.
- 2. 加賀山、右城、木下、矢田部:大規模地震時の落石災害防止に向けた高エネルギー吸収型落石防護ネットの開発、土木学会四国支部、21世紀の南海地震と防災、第14巻、pp.31-37、2020.1
- 3. 山本、森脇、薬師寺、新宮、矢田部、大橋:宇和海沿岸地域の南海トラフ地震事前復興のための 教育プログラムの提案と試行、土木学会四国支部、21世紀の南海地震と防災、第14巻、pp.49-58、 2020.1
- 4. 新宮、森脇、山本、薬師寺、矢田部、二神、羽藤、萩原:宇和海沿岸地域の事前復興のための災害リスク情報プラットフォームの活用、土木学会四国支部、21世紀の南海地震と防災、第14巻、pp.59-68、2020.1

5. 山本、中尾、矢田部、羽藤、藤本、芝:アンケート調査から見た松山市民の防災意識の現状と変化、土木学会四国支部、21世紀の南海地震と防災、第14巻、pp.99-102、2020.1

【安原 英明】

社会貢献活動:

- 1. 2019.10.6: 「災害大国」日本~平成 30 年 7 月豪雨を中心に~」: 令和元年度第 42 回現代教養講座: 愛媛県生涯学習センター: 30 名
- 2. 国土交通省四国地方整備局「道路防災有識者」
- 3. 経済産業省中国四国産業保安監督部地方鉱山保安協議会委員
- 4. 愛媛県建設工事総合評価審査委員
- 5. 日本地下石油備蓄株式会社保全技術檢討委員会委員
- 6. (一財) 防災研究協会 非常勤研究員
- 7. 京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科アフリカ地域研究資料センター 特任教授
- 8. 2019.12.3: Excellent Poster Award(共著: Kumagai はか): The 5th ISRM Young Scholars' Symposium on Rock Mechanics and International Symposium on Rock Engineering for Innovative Future

- 1. 緒方 奨・安原 英明・岸田 潔 (2019), 損傷理論を導入した多孔質岩盤における熱・水・応力・化学連成解析, 土木学会論文集 C (地圏工学), 75, 131-145.
- Déthié Sarr, Hamath Kebe, Hideaki Yasuhara, Ababacar Fall, Mapathé Ndiaye (2019), Instabilities Susceptibility Assessment of Fractured Rock Masses Using Geographic Information System: Application on the Sector of Mako (South-Eastern Senegal), International Journal of Geosciences, 10, 995-1007, doi.org/10.4236/ijg.2019.1011057
- 3. Song, C. L., Nakashima, S., Yasuhara, H., Iseki, K., Kishida, K. (2019), Long-term permeability experiments of a single fracture in granite under thermal conditions and evaluation of the aperture distribution through microfocus X-ray CT, Proc. 53rd US Symp. on Rock Mechs./Geomechs, New York, NY, June, pp. ARMA19-A393.
- Ogata, S., Yasuhara, H., Aoyagi, K., Kishida, K. (2019), Coupled THMC analysis for predicting hydro-mechanical evolution in siliceous mudstone, Proc. 53rd US Symp. on Rock Mechs./Geomechs, New York, NY, June, pp. ARMA19-1583.
- Muhammad Qarinur, Hideaki Yasuhara, Naoki Kinoshita (2019), Thermo-hydro-mechanical modeling to simulate Lahendong geothermal field, Proc. The 7th Indonesia International Geothermal Convention & Exhibition (IIGCE) 2019, Jakarta, August 13-15, pp. ENG 22.
- 6. Chenlu Song, Hideaki Yasuhara, Shinichiro Nakashima and Kiyoshi Kishida (2019), Short-and long-term permeability tests of a single rock fracture under coupled conditions, Proc.

- The 5th ISRM Young Scholars' Symposium on Rock Mechanics and International Symposium on Rock Engineering for Innovative Future, Okinawa, December 1-4, pp. 2-1-2.
- 7. Muhammad Qarinur, Hideaki Yasuhara, Naoki Kinoshita (2019), Numerical Investigation for Modeling Lahendong Geothermal Field, North Sulawesi, Indonesia, Proc. The 5th ISRM Young Scholars' Symposium on Rock Mechanics and International Symposium on Rock Engineering for Innovative Future, Okinawa, December 1-4, pp. 2-1-3.
- 8. Sho Ogata, Hideaki Yasuhara and Kiyoshi Kishida (2019), Development of multi-physics simulator by considering damage evolution due to mineral reactions in fractured rocks, Proc. The 5th ISRM Young Scholars' Symposium on Rock Mechanics and International Symposium on Rock Engineering for Innovative Future, Okinawa, December 1-4, pp. 2-1-4.
- 9. Aulia Dharma Putra, Hikaru Toda, Hideaki Yasuhara, Naoki Kinoshita (2019), Analysis of Surface Failure of Slopes using Slope Deformation Monitoring System Based on Inclinometers with LPWA, Proc. The 5th ISRM Young Scholars' Symposium on Rock Mechanics and International Symposium on Rock Engineering for Innovative Future, Okinawa, December 1-4, pp. 2-5-4.
- 10. Kentaro Ouchi, Hideaki Yasuhara, Naoki Kinoshita (2019), Development of experimental apparatus for two-phase flow in rocks and preliminary results using Berea sandstone, Proc. The 5th ISRM Young Scholars' Symposium on Rock Mechanics and International Symposium on Rock Engineering for Innovative Future, Okinawa, December 1-4, pp. P-17.
- 11. Kohya Sumimoto, Hideaki Yasuhara, Naoki Kinoshita (2019), Development of test apparatus using transient pulse method for rock permeability measurement, Proc. The 5th ISRM Young Scholars' Symposium on Rock Mechanics and International Symposium on Rock Engineering for Innovative Future, Okinawa, December 1-4, pp. P-26.
- 12. Takeru Kumagai, Hideaki Yasuhara, Naoki Kinoshita, Sho Ogata (2019), Simulations of flow-through experiments using the granite fractures by THMC coupled model considering pH dependence, Proc. The 5th ISRM Young Scholars' Symposium on Rock Mechanics and International Symposium on Rock Engineering for Innovative Future, Okinawa, December 1-4, pp. P-29.
- 13. Kokoro Kajiwara, Hideaki Yasuhara, Naoki Kinoshita, Sho Ogata (2019), Preliminary experiments of hydraulic fracturing by developing the experimental apparatus, Proc. The 5th ISRM Young Scholars' Symposium on Rock Mechanics and International Symposium on Rock Engineering for Innovative Future, Okinawa, December 1-4, pp. P-36.

【木下 尚樹】

- 1. 2019年7月 現在 日本技術士会四国本部 修習技術者支援委員会委員長
- 2. 2019年7月 現在 日本技術士会四国本部 総務委員会委員
- 3. 2019年7月 現在 日本技術士会四国本部 幹事

- 4. 2019 年 7 月 現在 愛媛県 えひめ建設業 BCP 等審査会 委員
- 5. 2019年6月 · 現在 四国地方整備局 四国建設業 BCP 等審査会部会員
- 6. 2019年5月 現在 資源素材学会 関西支部常議員
- 7. 2019年4月 現在 資源素材学会 論文誌委員会委員
- 8. 2018年6月 現在 土木学会 地盤工学委員会委員
- 9. 2018年4月 現在 地盤工学会四国支部 監事
- 10. 2018年4月 現在 愛南町 入札監視委員会委員長
- 11. 2017年9月 現在 愛媛県 廃棄物処理施設設置審査会専門委員
- 12. 2015年 現在 土木学会 岩盤力学委員会論文小委員会委員
- 13. 2013 年 現在 高圧ガス保安協会 石油天然ガス岩盤備蓄基地に係る操業実績を踏まえた保 安検査実績評価検討業務委員会 委員
- 14. 2012年 現在 愛媛県技術士会 幹事
- 15. 2012 年 現在 資源・素材学会 採掘技術部門委員会 委員
- 16. 2011 年 現在 特定非営利活動法人愛媛県建設技術支援センター 技術評価委員
- 17. 2010年 現在 日本材料学会 編集委員会査読委員
- 18. 1998年 現在 日本材料学会 岩盤力学部門委員会委員
- 19. 1998年 · 現在 資源·素材学会 岩盤工学部門委員会委員
- 20. 2020年1月 2020年2月 西予市 トンネル長寿命化検討会アドバイザー
- 21. 2013年 2019年7月 日本技術士会四国本部 広報委員会委員

- 1. 伊澤 正悟,緒方 奨,安原 英明,木下 尚樹,岸田 潔:物分布を考慮したき裂発生・進展解析 による圧裂引張試験時の花崗岩の破壊挙動評価,材料,69,236-242.(2020.3)
- Muhammad Qarinur, Hideaki Yasuhara, Naoki Kinoshita (2019), "Thermo-hydro-mechanical modeling to simulate Lahendong geothermal field", Proc. The 7th Indonesia International Geothermal Convention & Exhibition (IIGCE) 2019, Jakarta, August 13-15, pp. ENG 22.
- 3. Heny Sulistiawati Baiq, Hideaki Yasuhara, Naoki Kinoshita, Heriansyah Putra, and Erni Johan (2019), "Examination of calcite precipitation using plant-derived urease enzyme for soil improvement" Proc. 9th International Conference on Geotechnique, Construction Materials and Environment, Tokyo, November 20-22, pp. 9481.
- 4. Muhammad Qarinur, Hideaki Yasuhara, Naoki Kinoshita (2019), "Numerical Investigation for Modeling Lahendong Geothermal Field, North Sulawesi, Indonesia" Proc. The 5th ISRM Young Scholars' Symposium on Rock Mechanics and International Symposium on Rock Engineering for Innovative Future, Okinawa, December 1-4, pp. 2-1-3.
- 5. Aulia Dharma Putra, Hikaru Toda, Hideaki Yasuhara, Naoki Kinoshita (2019), "Analysis of Surface Failure of Slopes using Slope Deformation Monitoring System Based on Inclinometers with LPWA", Proc. The 5th ISRM Young Scholars' Symposium on Rock

- Mechanics and International Symposium on Rock Engineering for Innovative Future, Okinawa, December 1-4, pp. 2-5-4.
- 6. Kentaro Ouchi, Hideaki Yasuhara, Naoki Kinoshita (2019), "Development of experimental apparatus for two-phase flow in rocks and preliminary results using Berea sandstone", Proc. The 5th ISRM Young Scholars' Symposium on Rock Mechanics and International Symposium on Rock Engineering for Innovative Future, Okinawa, December 1-4, pp. P-17.
- 7. Kohya Sumimoto, Hideaki Yasuhara, Naoki Kinoshita (2019), "Development of test apparatus using transient pulse method for rock permeability measurement" Proc. The 5th ISRM Young Scholars' Symposium on Rock Mechanics and International Symposium on Rock Engineering for Innovative Future, Okinawa, December 1-4, pp. P-26.
- 8. Takeru Kumagai, Hideaki Yasuhara, Naoki Kinoshita, Sho Ogata (2019), "Simulations of flow-through experiments using the granite fractures by THMC coupled model considering pH dependence", Proc. The 5th ISRM Young Scholars' Symposium on Rock Mechanics and International Symposium on Rock Engineering for Innovative Future, Okinawa, December 1-4, pp. P-29.
- 9. Kokoro Kajiwara, Hideaki Yasuhara, Naoki Kinoshita, Sho Ogata (2019), "Preliminary experiments of hydraulic fracturing by developing the experimental apparatus" Proc. The 5th ISRM Young Scholars' Symposium on Rock Mechanics and International Symposium on Rock Engineering for Innovative Future, Okinawa, December 1-4, pp. P-36.
- 10. 右城 猛,加賀山 肇,木下 尚樹,矢田部龍一,「高エネルギー吸収型落石防護ネット「ロングスパン工法」の開発」,60 年のあゆみ 地盤工学会四国支部創立 60 周年記念出版,4.1,pp.153-162,(2019.8)
- 11. 伊澤 正悟・緒方 奨・安原 英明・木下 尚樹・岸田 潔, 「鉱物分布・組成を考慮した数値解析 モデルによる花崗岩の引張破壊挙動の予測」, 第 47 回岩盤力学に関するシンポジウム講演集, pp. 127-132, (2020.1)
- 12. Naoki Kinoshita; "Development of Low Carbon Concrete Using Paper Sludge Ash and Some Industrial By-Products", 2nd TRPNEP Seminar, 2-3, (2020.12)

【馬場 務】

- Advancement of GMS3 a unified system of ground penetrating radar and camera vector technology 18th International Conference on Ground Penetrating Radar (GPR), Colorado June 14-19, 2020 (In Press) Yugo Kato* 1, Takahiro Niizaki 1, Tsutomu Baba 2, Elvis Anup Shukla 21: Canaan Geo Research Ltd., Japan; 2: Ehime University, Japan
- 2. 地中レーダ技術を用いた路面下性状調査に関する研究(1):地盤工学会四国支部令和元年度 技術研究発表会,地盤工学会四国支部:香川:2019.11.15
- 3. 地中レーダ技術を用いた路面下性状調査に関する研究(2):地盤工学会四国支部令和元年度 技術研究発表会,地盤工学会四国支部:香川:2019.11.15

- 4. 地中レーダ技術を用いた路面下性状調査に関する研究(3):地盤工学会四国支部令和元年度 技術研究発表会、地盤工学会四国支部: 香川: 2019.11.15
- 5. 大規模災害からの早期復旧に向けた地下を含むシームレスな3次元空間情報の活用:第14回南 海地震四国地域学術シンポジウム, 土木学会四国支部:高松市:2019.12.16

【中前 茂之】

社会貢献活動:

1. 2019 年 5 月 31 日: 「インフラ空間情報の防災・まちづくりへの活用方策と将来展望」,松岡先生を囲む異業種交流会、東京第一ホテル,20 名

論文・研究発表:

- 1. 「雪国こそ路面下空洞探査が必要な理由」:公益社団法人雪センター:機関誌ゆき 第 30 巻 43 号 (通算 118 号),pp32-36:2020 年・3 月
- 2. 「大規模災害からの早期復旧に向けた地下を含むシームレスな3次元空間情報の活用」:土木 学会四国支部,12.16 自然災害フォーラム&南海シンポジウム講演集,2019 年 12 月

【中尾 順子】

社会貢献活動:

- 1. **2020.1.18**:「全世代型防災教育による切れ目のない防災リーダー育成」: 防災講演会: 松山市: 松山市コミュニティーセンター (200名)
- 2. 2020.2.18:「学校防災教育の展開における学生防災リーダーの役割」:松山学生防災エデュケーター育成講座:松山防災リーダー育成会:愛媛大学防災情報研究センター・研修室(8名)
- 3. 2020.2.20: 「松山市小中学校の防災教育への取り組みの現状」: 松山防災リーダー育成会報告会: 松山防災リーダー育成会: 愛媛大学南加記念ホール (100名)
- 4. 2020.2.25: 「防災士資格取得教員の学校における活動の現状」: 学校教員防災エデュケーター 育成講座: 松山市教育委員会・松山防災リーダー育成会: 松山市教員研修センター (80 名)
- 5. 2020.2.29: 「学校防災教育の展開」: 松山防災エデュケーター育成講座: 松山防災リーダー育成会: 愛媛大学防災情報研究センター・研修室(20名)

- 1. 中尾順子、山本慎也、矢田部龍一、芝大輔、羽藤英二: 松山市における小学生から高齢者に至る全世代型防災教育の展開、21世紀の南海地震と防災、Vol. 14、pp. 95-98、2019.
- 2. 門田侑子、西村幸一、中尾順子: 平成 30 年 7 月豪雨における高浜地区住民の避難行動について、令和元年自然災害フォーラム論文集(土木学会四国支部)、pp.45-52、2019.

【山本 浩司】

社会貢献活動:

- 1. 2019.5.31: 南海トラフ巨大地震を対象とした南予地域の事前復興デザインへの取り組み: 平成 30 年度防災情報研究センター報告会「防災とインフラ整備とまちづくりを考える」: 愛媛大学防災情報研究センター: 松山市・愛媛大学南加記念ホール (150名)
- 2. 2019.9.7: 愛媛県南予地域における事前復興デザイン研究: 防災特別講演会「南海トラフ巨大地震への事前復興デザインを考える」: 高知工科大学、東京大学復興デザイン研究体、愛媛大学防災情報研究センター: 高知市・高知工科大学永国寺キャンパス A105 (200 名)
- 3. 2020.2.22: 防災・事前復興と地理総合: GIGA Ehime 教育イベント: 松山市・愛媛大学グリーンホール

- 1. 山本浩司,森脇亮,全邦釘,藥師寺隆彦,新宮圭一,羽藤英二,萩原拓也:宇和海沿岸地域の南海トラフ地震事前復興デザイン共同研究の取り組み,令和元年度土木学会全国大会第 74 回年次学術講演会,土木学会,pp. CS12-71-72, 2019.
- 2. 山本浩司, 森脇亮, 藥師寺隆彦, 新宮圭一, 矢田部龍一, 大橋淳史: 宇和海沿岸地域の南海トラフ地震事前復興のための教育プログラムの提案と試行, 第 14 回南海地震四国地域学術シンポジウム, 土木学会四国支部, pp.49-58, 2019.
- 3. 新宮圭一,森脇亮,山本浩司,藥師寺隆彦,矢田部龍一,二神透,羽藤英二,萩原拓也:宇和海沿岸地域の事前復興のための災害リスク情報プラットフォームの活用,第 14 回南海地震四国地域学術シンポジウム,土木学会四国支部,pp.59-68,2019.
- 4. 山本浩司: 宇和海沿岸地域の南海トラフ地震事前復興デザイン共同研究の取り組み: 令和元年 度土木学会全国大会第74回年次学術講演会,土木学会: 高松市: 2019.9.5
- 5. 山本浩司: 宇和海沿岸地域の南海トラフ地震事前復興のための教育プログラムの提案と試行: 第14回南海地震四国地域学術シンポジウム, 土木学会四国支部: 高松市: 2019.12.16

5. 規程等

5.1 愛媛大学防災情報研究センター規則

平成18年4月1日 規則第 64 号

(趣旨)

- 第1条 この規則は、国立大学法人愛媛大学基本規則第30条第2項の規定に基づき、愛媛大学防災情報研究センター(以下「センター」という。)の組織及び運営に関し、必要な事項を定めるものとする。 (目的)
- 第2条 センターは、自然科学と防災技術の融合により自然災害の実態を解明し、防災・減災のための新たな学際分野を創出し、もって地域の人材育成を含めた地域防災の拠点としてアジア及び地域社会に貢献することを目的とする。

(研究部門等)

- 第3条 前条の目的を達成するため、センターに次の各号に掲げる研究部門等を置く。
 - (1) 災害救急医療・ケア研究部門
 - (2) 地域防災システム研究部門
 - (3) アジア・地域防災情報ネットワーク部門
 - (4) アーバンデザイン研究部門
 - (5) 防災・橋梁メンテナンス技術研究部門
 - (6) インフラ空間情報基盤研究部門
 - (7) 松山全世代型防災教育推進講座
 - (8) 海洋レーダ情報高度化研究部門
- 2 前条の目的を達成するため、必要に応じて、センターに地域サテライトを置くことができる。 (組織)
- 第4条 センターに、次の各号に掲げる職員を置く。
 - (1) センター長
 - (2) 副センター長
 - (3) 部門等の長(以下「部門長」という。)
 - (4) 特定職員である教員(以下「特定教員」という。)
 - (5) 兼任教員
 - (6) その他必要な職員(以下「センター職員」という。)
- 2 第2条の目的を達成するため、必要に応じて、センターに特定領域の学識を有する専任教員を置くことができる。

(管理機関)

第5条 センターの管理運営に関する重要な事項は、愛媛大学社会連携推進機構社会連携推進会議(以下「推進会議」という。)において審議する。

(運営委員会)

第6条 センターの運営に関する事項を審議するため、センター運営委員会(以下「運営委員会」という。) を置く。 2 運営委員会に関し必要な事項は、別に定める。

(緊急対策委員会)

第7条 センターに、緊急の防災対策を検討するため、緊急対策委員会を置くことができる。

(センター長)

- 第8条 センター長は、愛媛大学(以下「本学」という。)の専任の教授のうちから、推進会議が推薦し、 学長が選考する。
- 2 センター長の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、センター長に欠員が生じた場合の後任者 の任期は、前任者の残任期間とする。

(副センター長)

- 第9条 副センター長は、本学の専任教員のうちから、推進会議が推薦し、学長が選考する。
- 2 副センター長の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、副センター長に欠員が生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。
- 3 前項の規定にかかわらず、副センター長の任期の末日は、センター長の任期の末日を超えることができない。

(部門長)

- 第10条 部門長は、当該部門等の専任教員、特定教員又は兼任教員のうちから、センター長が委嘱する。
- 2 部門長の委嘱期間は、センター長が定める。ただし、委嘱期間の末日は、当該部門長を委嘱するセンター長の任期の末日を超えないものとする。
- 第11条 削除

(兼任教員)

- 第12条 兼任教員は、本学の専任教員のうちから、センター長の推薦により、学長が任命する。
- 2 兼任教員の任期は、2年以内とし、再任を妨げない。

(職務)

- 第13条 センター長は、センターの業務を掌理する。
- 2 副センター長は、センター長の職務を補佐し、センター長から指示された具体的な事 項を行う。
- 3 部門長は、当該部門等の業務を処理する。
- 4 専任教員及び特定教員は、センターの研究計画等に基づき、業務に従事する。
- 5 兼任教員は、専任教員及び特定教員とともに、センターの業務に従事する。
- 6 センター職員は、センターの業務に従事する。

(協力教員)

- 第14条 センターに、協力教員を置くことができる。
- 2 協力教員は、センター長があらかじめ定めた期間、センターの活動に参加することが できる。
- 3 協力教員は、本学の専任教員のうちから、センター長が委嘱する。 (客員教授等)
- 第15条 センターに、客員教授等を置くことができる。
- 2 客員教授等の選考は,国立大学法人愛媛大学客員教授等称号付与規程の定めるところによる。 (客員研究員)
- 第16条 センターに、客員研究員を置くことができる。
- 2 客員研究員の選考は、愛媛大学客員研究員規程の定めるところによる。

(事務)

第17条 センターに関する事務は、社会連携支援部社会連携課において処理する。

(雑則)

第18条 この規則に定めるもののほか、センターに関し必要な事項は、別に定める。

附則

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

附則

この規則は、平成20年4月1日から施行する。

附則

この規則は、平成22年10月14日から施行し、平成22年10月1日から適用する。

附則

この規則は、平成23年4月1日から施行する。

附則

この規則は、平成25年7月25日から施行する。

附則

この規則は、平成26年4月1日から施行する。

附則

この規則は、平成26年6月11日から施行する。

附則

- 1 この規則は、平成28年8月1日から施行する。
- 2 この規則施行後、最初に任命される副センター長の任期は、第9条第2項の規定にかかわらず、平成30年3月31日までとする。

附則

この規則は、平成29年4月1日から施行する。

附則

この規則は、平成30年4月1日から施行する。

附則

この規則は、令和元年11月13日から施行し、令和元年10月1日から適用する。ただし、第3条第1項第8号の規定は、令和元年11月1日から適用する。

附則

この規則は、令和2年4月1日から施行する。

5.2 愛媛大学防災情報研究センター運営委員会規程

平成18年4月1日 規則第 65 号

(趣旨)

第1条 この規程は、愛媛大学防災情報研究センター規則第6条第2項の規定に基づき、愛媛大学防災情報研究センター運営委員会(以下「運営委員会」という。)の組織及び運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

(審議事項)

- 第2条 運営委員会は、次の各号に掲げる事項を審議する。
 - (1)愛媛大学防災情報研究センター(以下「センター」という。)の運営に関する基本事項に関すること。
 - (2) その他センターの運営に関すること。

(組織)

- 第3条 運営委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。
 - (1) センター長
 - (2) 副センター長
 - (3) 部門長
 - (4) 社会連携支援部長
 - (5) その他委員長が必要と認めた者
- 2 前項第5号の委員は、運営委員会の議を経て委員長が推薦し、学長が任命する。 (委員長)
- 第4条 運営委員会に委員長を置き、センター長をもって充てる。
- 2 委員長は、運営委員会を招集し、その議長となる。
- 3 委員長に事故があるときは、委員長があらかじめ指名する委員がその職務を代行する。 (議事)
- 第5条 運営委員会は、委員(代理者を含む。以下同じ)の過半数が出席しなければ議事を開くことができない。
- 2 議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。 (委員以外の者の出席)
- 第6条 委員長が必要と認めるときは、委員以外の者を出席させ、説明又は意見を聴くことができる。 (専門部会)
- 第7条 運営委員会は、専門的事項を調査検討するため、専門部会を置くことができる。
- 2 専門部会に関する事項は、運営委員会が定める。

(事務)

第8条 運営委員会に関する事務は、社会連携支援部社会連携課において処理する。

(雑目(1)

第9条 この規程に定めるもののほか、運営委員会の運営に関し必要な事項は、運営委員会が定める。

附則

- この規程は、平成18年4月1日から施行する。 附 則
- この規程は、平成19年4月1日から施行する。 附 則
- この規程は、平成20年4月1日から施行する。

5.3 愛媛大学防災情報研究センター外部評価実施規程

平成 18年 11月 10日 社会連携推進機構管理委員会

(趣旨)

第1条 この規程は、愛媛大学防災情報研究センター(以下「センター」という。)における外部評価(以下「評価」という。)の実施に関する基本的事項を定めるものとする。

(目的)

第2条 評価は、愛媛大学以外の機関等から申込のあった共同研究及び受託研究が、愛媛大学において受け入れる研究としてふさわしいものであるかについて客観的な立場で検証し、その評価及び改善への助言等を行うことにより、共同研究及び受託研究の業務の適正化を図り、もって、センターの円滑な運営に資するものとする。

(評価審査)

- 第3条 評価に係る審査は、法令、学内諸規則及び社会良識に照らして厳正中立に行わなければならない。
 - 2 評価審査の結果には、共同研究及び受託研究を実施する上での問題点の有無等について、その具体的な判断理由を明示するものとする。

(審査機関)

- 第4条 前条の審査を行うために、センターに愛媛大学防災情報研究センター外部評価委員会(以下「外 部評価委員会」という。)を置く。
 - 2 外部評価委員会に関する事項は、別に定める。

(審査の時期)

- 第5条 審査は、原則として、年度ごとの定期審査とする。
 - 2 外部評価委員会への審査の要請は、センター長が行う。

(審査結果の効力)

第6条 センター長は、外部評価委員会の定期審査による評価及び改善への助言等を十分に尊重し、共同 研究及び受託研究の実施にあたらなければならない。

(事務)

第7条 センターの外部評価に関する事務は、社会連携支援部社会連携課が所掌する。

附則

この規程は、平成18年11月10日から施行する。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

5.4 愛媛大学防災情報研究センター外部評価委員会要項

平成 18年 11月 10日 社会連携推進機構管理委員会

(趣旨)

第1条 この要項は、愛媛大学防災情報研究センター外部評価実施規程第4条第2項の規定に基づき、 愛媛大学防災情報研究センター外部評価委員会(以下「外部評価委員会」という。)の組織及び運営 に関し必要な事項を定めるものとする。

(審議事項)

- 第2条 外部評価委員会は、次の各号に掲げる事項を審議する。
 - (1) 共同研究及び受託研究のテーマ又は内容が、学術的又は社会貢献としての価値を損なうものでないか。
 - (2) 共同研究又は受託研究を実施する者が、社会規範を逸脱したと思われる行為を行っていないか。
 - (3) 前各号のほか、愛媛大学(以下「本学」という。)が実施するにふさわしくない事情が認められないか。

(組織)

- 第3条 外部評価委員会は、次の各号に掲げる本学外の委員をもって組織する。
 - (1) 愛媛大学防災情報研究センター(以下「センター」という。)の学術分野に関連のある有識者 2人
 - (2) 民間機関の有識者 2人
 - (3) その他社会連携推進機構長が必要と認めた者
 - 2 前項第2号の委員は、同一の機関から選出することができない。
 - 3 第1項の委員は、社会連携推進機構長が推薦し、学長が任命する。
 - 4 委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、委員に欠員が生じたときは直ちにこれを補充 し、その任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

- 第4条 外部評価委員会に委員長を置き,委員長は,委員の互選とする。
 - 2 委員長は、センター長の要請に基づき外部評価委員会を開催し、その議長となる。
 - 3 委員長に事故あるときは、委員長があらかじめ指名する委員がその職務を代行する。

(議事)

- 第5条 外部評価委員会は、委員の過半数の出席がなければ議事を開くことができない。
 - 2 議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。 (委員以外の者の出席)
- 第6条 委員長が認めるときは、委員以外の者を出席させ、説明又は意見を聴くことができる。 (審査結果の報告)
- 第7条 委員長は、外部評価委員会における評価の審査結果を、速やかにセンター長に報告しなければならない。 (事務)
- 第8条 外部評価委員会に関する事務は、社会連携支援部社会連携課において処理する。

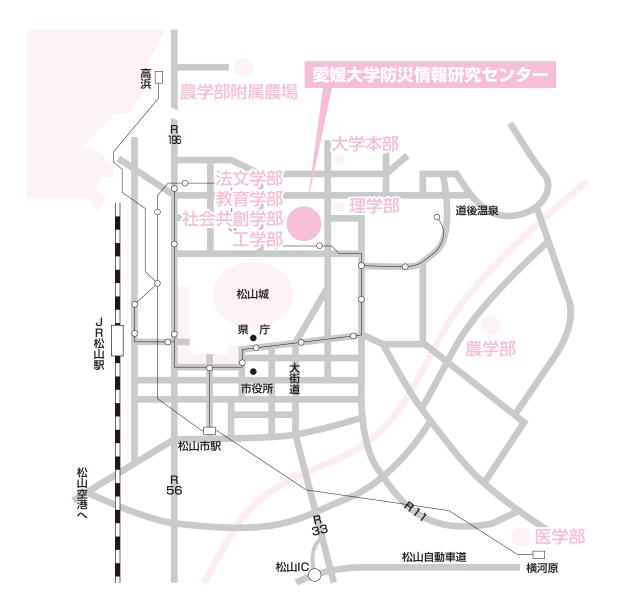
(雑則)

第9条 この要項に定めるもののほか、外部評価委員会の審査に関し必要な事項は、外部評価委員会が定める。

附則

- 1 この要項は、平成18年11月10日から施行する。
- 2 この要項施行後,最初に任命される第3条第1項各号の委員の任期は,同条第4項の規定にかかわらず,平成20年3月31日までとする。

愛媛大学案内図



本センターに関する問い合わせ、照会等は下記へご相談ください。

愛媛大学防災情報研究センター

〒790-8577 愛媛県松山市文京町3番 TEL (089)927-8974 FAX (089)927-8820 E-mail kensien@stu.ehime-u.ac.jp HP http://cdmir.jp